

平成30年9月5日差替版

[平成30年度設置]

注3

大学番号：公019

計画の区分：学部の設置

注1

認可

島根県立大学 人間文化学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人島根県立大学  
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 主任主事 ウエダコウジ 植田晃次

電話番号 0852-20-0216

（夜間） 0852-26-5525

F A X 0852-21-8150

e-mail m-kyoumu@u-shimane.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 人間文化学部

<保育教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	29

<地域文化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	33
2. 授業科目の概要	37
3. 施設・設備の整備状況、経費	43
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	44
5. 教員組織の状況	46
6. 留意事項等に対する履行状況等	56
7. その他全般的事項	57

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人島根県立大学

## (2) 大学名 島根県立大学

## (3) 大学の位置

〒690-0044 (〒697-0016)  
島根県松江市浜乃木7-24-2 (島根県浜田市野原町2433-2)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成29年4月1日)		
学長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成29年4月1日)		
学部長	(イワタ エイサク) 岩田 英作 (平成30年4月1日)		
学科長等	(ヤマシタ ユキエ) 山下 由紀恵 (平成30年4月1日)		保育教育学科長

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間文化学部 保育教育学科 学士(保育教育学)	教育学・保育 学関係	4 年	40 人	4 年次 人	168 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40 ( - ) [ - ]	-	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1.07倍	
志願者数	130 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	116 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	46 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	43 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.07									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	43 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	43 [ - ] ( - )		[ ] ( )		[ ] ( )		[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	43 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	43 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間文化学部 保育教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2								兼1
		心理学	1後	2								兼1
		音楽	2前	2								兼1
		文学	2後	2								兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2								兼1
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2								兼1
		社会学	1後	2								兼1
		現代経済学	2前	2								兼1
		生涯学習概論	2前	2								兼1
		日本国憲法	2後	2								兼1
	人間と自然	人間と自然	1前	2								兼1
		脳科学と心	1後	2			1					兼1
		生物と栄養 環境の科学	1後 2後	2 2				1				兼1
	しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2		1	1	1				兼9
		しまね文化論	1後	2								兼1
		しまねボランティア研修	1・2通	1								兼1
	体育	健康スポーツ概論	1後	1			1					
		健康スポーツⅠ	1前	1			1					
健康スポーツⅡ		2前	1			1						
健康スポーツⅢ		3前	1								兼1	
外国語	基礎中国語	3前	1								兼1	
	中国語	3後	1								兼1	
	基礎韓国語	3前	1								兼1	
	韓国語	3後	1								兼1	
	基礎タイ語	3前	1								兼1	
	タイ語	3後	1								兼1	
	基礎インドネシア語	3前	1								兼1	
	インドネシア語	3後	1								兼1	
デザイン	スタートアップセミナー	1前	1			5	7	3	1			
	表現とコミュニケーション	1前	1								兼3	
	キャリア・プランニング	2後	1			5	7	3	1		兼2	
	保育教育職インターンシップ	3後	2			4	7	3	1		兼2	
	英語Ⅰ	1前	1								兼1	
リテラシー	英語Ⅱ	1後	1								兼1	
	アメリカ語学研修計画	1・2前	1								兼1	
	アメリカ語学研修	1・2前	2								兼1	
リテラシー	情報機器の操作Ⅰ	1前	1								兼1	
	情報機器の操作Ⅱ	1後	1								兼1	
	情報機器の操作Ⅲ	3前	1								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2								兼1
		心理学	1後	2								兼1
		音楽	2前	2								兼1
		文学	2後	2								兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2								兼1
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2								兼1
		社会学	1後	2								兼1
		現代経済学	2前	2								兼1
		生涯学習概論	2前	2								兼1
		日本国憲法	2後	2								兼1
	人間と自然	人間と自然	1前	2								兼1
		脳科学と心	1後	2					1			兼1
		生物と栄養 環境の科学	1後 2後	2 2						1		兼1
	しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2		1	1	1				兼8
		しまね文化論	1後	2								兼1
		しまねボランティア研修	1・2通	1								兼1
	体育	健康スポーツ概論	1後	1			1					
		健康スポーツⅠ	1前	1			1					
健康スポーツⅡ		2前	1			1						
健康スポーツⅢ		3前	1								兼1	
外国語	基礎中国語	3前	1								兼1	
	中国語	3後	1								兼1	
	基礎韓国語	3前	1								兼1	
	韓国語	3後	1								兼1	
	基礎タイ語	3前	1								兼1	
	タイ語	3後	1								兼1	
	基礎インドネシア語	3前	1								兼1	
	インドネシア語	3後	1								兼1	
デザイン	スタートアップセミナー	1前	1			5	7	3	1			
	表現とコミュニケーション	1前	1								兼3	
	キャリア・プランニング	2後	1			5	7	3	1		兼2	
	保育教育職インターンシップ	3後	2			4	7	3	1		兼2	
	英語Ⅰ	1前	1						4	7	3	1
リテラシー	英語Ⅱ	1後	1									兼1
	アメリカ語学研修計画	1・2前	1									兼1
	アメリカ語学研修	1・2前	2						4	7	3	0
リテラシー	情報機器の操作Ⅰ	1前	1						3	7	3	0
	情報機器の操作Ⅱ	1後	1									兼1
	情報機器の操作Ⅲ	3前	1									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基幹科目	プロジェクト 基幹研究	表現研究（児童文化）Ⅰ	1前	2			2	1				兼3
		表現研究（児童文化）Ⅱ	2前	2			2	1				
		言葉研究（読み聞かせ実践）	1後	2					1			
		保育教育文献講読	3前		2			1		1		
		心理・教育統計調査法Ⅰ	3前		2			1				
		心理・教育統計調査法Ⅱ	3後		2			1				
		卒業研究基礎演習	3後	2			5	7	3	1		
		卒業研究	4通	4			5	7	3	1		
		教職の意義	教職論（小・幼）	1前	2			1				
	教育の基礎理論	教育原理（小・幼）	1後	2			1					兼1
		発達心理学Ⅰ	1前	2								兼1
		発達心理学Ⅱ	1後		1							兼1
		教育心理学（小・幼）	2前	2				1				
		障害児発達教育論	2前	2				1				
	インクルーシブ教育論	2後	1				1					兼3
	教育制度論（小・幼）	2後	2							1		
	福祉と養護の基礎	保育原理	1前	2				1				兼1
		児童家庭福祉	1後	2				1				兼1
		社会福祉概論	1前	2								兼1
		社会的養護	1後	2				1				
教育課程及び指導法	教育課程論（小・幼）	2前	2				1					
	保育内容 健康	3後		2			1				兼1	
	保育内容 人間関係	3前		2			1				兼1	
	保育内容 環境	3前		2			1				兼1	
	保育内容 言葉	2前		2				1				
	保育内容 表現Ⅰ	2前		1			1				兼1	
	保育内容 表現Ⅲ	2後		1				1			兼1	
	保育内容総論Ⅰ	1後		1			1					
	初等国語科教育法（書写を含む）	2後		2					1			
	初等社会科教育法	4前		2							兼1	
	初等算数科教育法	3前		2			1					
	初等理科教育法	3後		2			1				兼1	
	初等生活科教育法	3前		2							兼1	
	初等音楽科教育法	3後		2					1		兼1	
	初等図画工作科教育法	3後		2				1			兼1	
	初等家庭科教育法	4前		2							兼1	
	初等体育科教育法	3前		2							兼1	
	教育方法論（小・幼）	2後	2				1				兼1	
	道徳の指導法（小）	4前		2			1					
特別活動の指導法（小）	3前		2							兼1		
教生相指導等	幼児理解の理論と方法	2後		2			1				兼1	
	教育相談の基礎と方法（小・幼）	3前		2			1					
	生徒・進路指導の理論と方法（小）	3後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基幹科目	プロジェクト 基幹研究	表現研究（児童文化）Ⅰ	1前	2				2	1			兼3	
		表現研究（児童文化）Ⅱ	2前	2				2	1				
		言葉研究（読み聞かせ実践）	1後	2						1			
		保育教育文献講読	3前		2				1		1		
		心理・教育統計調査法Ⅰ	3前		2				1				
		心理・教育統計調査法Ⅱ	3後		2				1				
		卒業研究基礎演習	3後	2					4	7	3		1
		卒業研究	4通	4					4	7	3		1
		教職の意義	教職論（小・幼）	1前	2				1				
	教育の基礎理論	教育原理（小・幼）	1後	2				1				兼1	
		発達心理学Ⅰ	1前	2								兼1	
		発達心理学Ⅱ	1後		1							兼1	
		教育心理学（小・幼）	2前	2					1				
		障害児発達教育論	2前	2					2				
	インクルーシブ教育論	2後	1					1				兼3	
	教育制度論（小・幼）	2後	2							1			
	福祉と養護の基礎	保育原理	1前	2					1			兼1	
		児童家庭福祉	1後	2					1			兼1	
		社会福祉概論	1前	2								兼1	
		社会的養護	1後	2					1				
教育課程及び指導法	教育課程論（小・幼）	2前	2					1					
	保育内容 健康	3後		2				1			兼1		
	保育内容 人間関係	3前		2				1			兼1		
	保育内容 環境	3前		2				1			兼1		
	保育内容 言葉	2前		2					1				
	保育内容 表現Ⅰ	2前		1				1			兼1		
	保育内容 表現Ⅲ	2後		1					1		兼1		
	保育内容総論Ⅰ	1後		1				1					
	初等国語科教育法（書写を含む）	2後		2						1			
	初等社会科教育法	4前		2							兼1		
	初等算数科教育法	3前		2				0					
	初等理科教育法	3後		2				1			兼1		
	初等生活科教育法	3前		2							兼1		
	初等音楽科教育法	3後		2						1	兼1		
	初等図画工作科教育法	3後		2					1		兼1		
	初等家庭科教育法	4前		2							兼1		
	初等体育科教育法	3前		2							兼1		
	教育方法論（小・幼）	2後	2					1			兼1		
	道徳の指導法（小）	4前		2				1					
特別活動の指導法（小）	3前		2							兼1			
教生相指導等	幼児理解の理論と方法	2後		2				1			兼1		
	教育相談の基礎と方法（小・幼）	3前		2					1				
	生徒・進路指導の理論と方法（小）	3後		2					1				



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基幹科目	教科に関する科目	国語（書写を含む）	2前	2				1				兼1
		社会	3後	2								
		算数	2後	2		1						
		理科	3前	2		1						
		生活	2後	2		1	1					
		音楽Ⅰ	1前	1				1				
		音楽Ⅱ	1後	1				1				
		図画工作Ⅰ	1前	1			1					
		図画工作Ⅱ	1後	1			1					
		家庭	3後	2								
		体育Ⅰ	1後	1		1						
		体育Ⅱ	2前	1		1						
	総合演習	教職実践演習（小・幼）	4後	2		2	2	1				
	職教科又は教員に関する科目	初等外国語教育法	2後	1								兼1
		音楽基礎Ⅰ（ピアノ）	1通	1								兼3
		音楽基礎Ⅱ（ピアノ）	2通	1								兼3
	教育実習	教育実習Ⅰ（幼稚園）指導	3前	1			1					兼1
		教育実習Ⅰ（幼稚園）	3通	4			1					兼1
		教育実習Ⅱ（小学校）指導	4前	1		2						兼1
		教育実習Ⅱ（小学校）	4前	4		2						兼1
	福祉と養護の内容に関する科目	社会的養護内容	4前	1			1					
		相談援助演習	4前	1			1					
		家庭支援論	4後	2			1					兼1
		保育相談支援	4前	1								兼1
		子どもの保健ⅠA	2前	2					1			
		子どもの保健ⅠB	2後	2					1			
		子どもの保健Ⅱ	3前	1					1			
救命救急法・応急手当法		4前	1					1				
子どもの食と栄養		4後	2								兼1	
乳児保育		3前	2					1				
障害児保育	3後	2		1	1							
音楽療法論	3後	1								兼1		
保育実習	保育実習Ⅰ（保育所）指導	1後	1			1					兼1	
	保育実習Ⅰ（保育所）	1後	2			1					兼1	
	保育実習Ⅰ（施設）指導	2前	1			1					兼1	
	保育実習Ⅰ（施設）	2前	2			1					兼1	
	保育実習Ⅱ（保育所）指導	3前	1			1					兼1	
	保育実習Ⅱ（保育所）	3前	2			1					兼1	
	保育実習Ⅲ（施設）指導	4前	1			1					兼1	
	保育実習Ⅲ（施設）	4前	2			1					兼1	
専門発展科目	教育の基礎理論	教育史	3後	2		1						兼1
		最新教育課題	4前	1		1						兼1
		学校教育と文化・社会	4後	2			1					兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基幹科目	教科に関する科目	国語（書写を含む）	2前	2					1			兼1
		社会	3後	2								兼1
		算数	2後	2			0					
		理科	3前	2		1						
		生活	2後	2		1	1					
		音楽Ⅰ	1前	1					1			
		音楽Ⅱ	1後	1					1			
		図画工作Ⅰ	1前	1				1				
		図画工作Ⅱ	1後	1				1				
		家庭	3後	2								兼1
		体育Ⅰ	1後	1		1						
		体育Ⅱ	2前	1		1						
	総合演習	教職実践演習（小・幼）	4後	2			1	2	1			
	職教科又は教員に関する科目	初等外国語教育法	2後	1								兼1
		音楽基礎Ⅰ（ピアノ）	1通	1								兼3
		音楽基礎Ⅱ（ピアノ）	2通	1								兼3
	教育実習	教育実習Ⅰ（幼稚園）指導	3前	1				1				兼1
		教育実習Ⅰ（幼稚園）	3通	4			1					兼1
		教育実習Ⅱ（小学校）指導	4前	1				1				兼1
		教育実習Ⅱ（小学校）	4前	4				1				兼1
	福祉と養護の内容に関する科目	社会的養護内容	4前	1				1				
		相談援助演習	4前	1				1				
		家庭支援論	4後	2				1				兼1
		保育相談支援	4前	1								兼1
		子どもの保健ⅠA	2前	2					1			
		子どもの保健ⅠB	2後	2					1			
		子どもの保健Ⅱ	3前	1					1			
救命救急法・応急手当法		4前	1					1				
子どもの食と栄養		4後	2								兼1	
乳児保育		3前	2						1			
障害児保育	3後	2		1	1							
音楽療法論	3後	1								兼1		
保育実習	保育実習Ⅰ（保育所）指導	1後	1				1				兼1	
	保育実習Ⅰ（保育所）	1後	2				1				兼1	
	保育実習Ⅰ（施設）指導	2前	1			1					兼1	
	保育実習Ⅰ（施設）	2前	2			1					兼1	
	保育実習Ⅱ（保育所）指導	3前	1			1					兼1	
	保育実習Ⅱ（保育所）	3前	2			1					兼1	
	保育実習Ⅲ（施設）指導	4前	1			1					兼1	
	保育実習Ⅲ（施設）	4前	2			1					兼1	
専門発展科目	教育の基礎理論	教育史	3後	2		1						兼1
		最新教育課題	4前	1		1						兼1
		学校教育と文化・社会	4後	2			1					兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育課程及び指導法	保育内容総論Ⅱ	3後	1			1					兼1
	保育内容 表現Ⅱ	3後	1			1					
	保育内容 表現Ⅳ	4前	1					1			
	初等国語科授業研究	3前	2					1			
	初等算数科授業研究	4前	2			1					
	初等理科授業研究	4前	2			1					
	初等体育科授業研究	4前	2								
教科に関する科目	小学算数	3後	2			1					兼2 兼1
	小学理科	3後	2			1					
	音楽Ⅲ	3通	1					1			
	音楽Ⅳ	4前	1								
司書教諭に関する科目	学校図書館論	4後	2								兼1 兼1 兼1 兼1
	学習指導と学校図書館	3後	2								
	学校図書館メディアの構成	3前	2								
	情報メディアの活用	4後	2								
専門発展科目	知的障害児の心理	3前	2			1	1				兼1 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	知的障害児の生理・病理	3前	2								
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2前	2								
	病弱児の心理・生理・病理	2前	2								
	知的障害児指導論	3前	2				1				
	肢体不自由児指導論	2後	2				1				
	病弱児指導論	2後	2			1		1			
	知的障害児教育特論	3後	2				1				
	重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理	2後	2				2				
	視覚障害児教育総論	2後	2				1				
	発達障害児教育総論	3後	2			1	2				
	発達障害児教育特論	4前	2				1				
	情緒障害児教育総論	3後	2			1					
	発達アセスメント	3前	1			1					
	特別支援教育アセスメント	3前	1			1	2				
	特別支援学校教育実習A指導	4前	1				2				
	特別支援学校教育実習A	4前	2				2				
特別支援学校教育実習B指導	4後	1				2					
特別支援学校教育実習B	4後	2				2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育課程及び指導法	保育内容総論Ⅱ	3後	1			1					兼1
	保育内容 表現Ⅱ	3後	1			1					
	保育内容 表現Ⅳ	4前	1					1			
	初等国語科授業研究	3前	2					1			
	初等算数科授業研究	4前	2					0			
	初等理科授業研究	4前	2					1			
	初等体育科授業研究	4前	2								
教科に関する科目	小学算数	3後	2					0			兼2 兼1
	小学理科	3後	2					1			
	音楽Ⅲ	3通	1						1		
	音楽Ⅳ	4前	1								
司書教諭に関する科目	学校図書館論	4後	2								兼1 兼1 兼1 兼1
	学習指導と学校図書館	3後	2								
	学校図書館メディアの構成	3前	2								
	情報メディアの活用	4後	2								
専門発展科目	知的障害児の心理	3前	2			1	1				兼1 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	知的障害児の生理・病理	3前	2								
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2前	2								
	病弱児の心理・生理・病理	2前	2								
	知的障害児指導論	3前	2				1				
	肢体不自由児指導論	2後	2				1				
	病弱児指導論	2後	2			1		1			
	知的障害児教育特論	3後	2				1				
	重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理	2後	2				2				
	視覚障害児教育総論	2後	2				1				
	発達障害児教育総論	3後	2			1	2				
	発達障害児教育特論	4前	2				1				
	情緒障害児教育総論	3後	2			1					
	発達アセスメント	3前	1			1					
	特別支援教育アセスメント	3前	1			1	2				
	特別支援学校教育実習A指導	4前	1				2				
	特別支援学校教育実習A	4前	2				2				
特別支援学校教育実習B指導	4後	1				2					
特別支援学校教育実習B	4後	2				2					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廣瀬教授の就任辞退により、以下のとおり教員配置を変更             <ul style="list-style-type: none"> <li>※「教授1」から「教授0」に変更…「初等算数科教育法」「算数」「初等算数科授業研究」「小学算数」</li> <li>※「教授5」から「教授4」に変更…「スタートアップセミナー」「キャリア・プランニング」「卒業研究基礎演習」「卒業研究」</li> <li>※「教授4」から「教授3」に変更…「保育教育職インターンシップ」</li> <li>※「教授2」から「教授1」に変更…「教職実践演習(小・幼)」「教育実習Ⅱ(小学校)指導」「教育実習Ⅱ(小学校)」</li> </ul> </li> <li>・ 教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり教員配置を変更             <ul style="list-style-type: none"> <li>※「教授1」から「教授2」に変更…「障害児発達教育論」</li> </ul> </li> <li>・ 教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり科目名称を変更             <ul style="list-style-type: none"> <li>※「知的障害児教育特論」を「知的障害児教育演習」に変更</li> <li>※「発達障害児教育特論」を「発達障害児教育演習」に変更</li> </ul> </li> <li>・ 教員資格審査において不可判定を受けた科目について以下のとおり変更             <ul style="list-style-type: none"> <li>※「講師1」から「講師1、兼1」に変更…「初等国語科教育法(書写を含む)」「国語(書写を含む)」</li> <li>※「助教1」から「助教0」に変更…「キャリアプランニング」「保育教育職インターンシップ」</li> </ul> </li> <li>・ 兼任教員の変更に伴う配置変更             <ul style="list-style-type: none"> <li>※「兼11」から「兼10」に変更…「しまね地域共生学入門」</li> </ul> </li> </ul>
---

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	132 科目	0 科目	160 科目	28 科目 [ 0 ]	132 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	160 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{160} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	島根県立大学短期大学部（必要面積48,416㎡）と共用			
	校舎敷地	83,452 ㎡	65,819 ㎡	— ㎡	149,271 ㎡				
	運動場用地	75,726 ㎡	6,367 ㎡	— ㎡	82,093 ㎡				
	小 計	159,178 ㎡	72,186 ㎡	— ㎡	231,364 ㎡				
	そ の 他	63,715 ㎡	30,324 ㎡	— ㎡	94,039 ㎡				
合 計	222,893 ㎡	102,510 ㎡	— ㎡	325,403 ㎡					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	島根県立大学短期大学部（必要面積15,537㎡）と共用				
	35,827 ㎡ ( 30,073 ㎡ )	15,543 ㎡ ( 19,608 ㎡ )	467 ㎡ ( 467 ㎡ )	51,837 ㎡ ( 50,148 ㎡ )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	48 室	62 室	43 室	4 室 (補助職員 1 人)	2 室 (補助職員 1 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		・専任教員の増に伴う研究室の増(30)			
	人間文化学部 保育教育学科			17 16 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	・学生の教育環境整備に伴う図書整備の前倒しによる図書・雑誌・視聴覚資料の増(30) ・電子ジャーナル3件のうち1件について、文献検索システムを設計していたことによる減(30)	
	人間文化学部 保育教育学科	20,588 [790] (20,233 [597]) <del>(20,173 [774])</del>	6 [0] (10 [0]) <del>(5 [0])</del>	3 [0] (2 [0]) <del>(3 [0])</del>	532 (547) <del>(526)</del>	58 (49)	2 (0)		
	計	20,588 [790] (20,233 [597]) <del>(20,173 [774])</del>	6 [0] (10 [0]) <del>(5 [0])</del>	3 [0] (2 [0]) <del>(3 [0])</del>	532 (547) <del>(526)</del>	58 (49)	2 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	6,047 ㎡		355 席		625,000 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,033 ㎡		テニスコート7面、ゴルフ練習場10打席、アスレチックルーム1室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・共同研究費増に伴う教員個人研究費配分額の減(30)
		教員1人当り研究費等	763 千円 772 千円	772 千円	図書購入費	10,811 千円	3,681 千円 1,741 千円	7,184 千円	
	共同研究費等	9,394 千円 8,716 千円	8,716 千円	設備購入費	15,965 千円	132,296 千円 25,514 千円	1,000 千円	・学生の教育環境整備に伴う図書購入費の増(30)	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	・設置団体(県)特殊要因補助金(施設整備関係)の増による設備購入費の増(30)	
		県内者 入学料 188 千円 授業料 535.8千円 合 計 723.8千円 県外者 入学料 262 千円 授業料 535.8千円 合 計 817.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	島根県立大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間文化学部 保育教育学科 地域文化学科	4 4	40 70	3年次 4 3年次 3	168 286	学士 (保育教育 学) 学士 (地域文化 学)	1.07 1.05	平成 30年度 平成 30年度	島根県松江市浜乃木 7-24-2	
総合政策学部 総合政策学科	4	220	3年次 10	900	学士 (総合政策 学)		平成 12年度	島根県浜田市野原町 2433-2	
看護栄養学科 看護学科 健康栄養学科	4 4 4	80 40	3年次 6 3年次 3	332 166	学士 (看護学) 学士 (健康栄養 学)	1.04 1.04 1.05	平成 24年度 平成 30年度	島根県出雲市西林木 町151	
大学院 北東アジア開発研究科 〔博士前期課程〕 北東アジア専攻 地域開発政策専攻 〔博士後期課程〕 北東アジア超域専攻	2 2 3	5 5 2	— — —	10 10 6	修士 (社会学) 修士 (開発研究 学) 博士 (社会学)	0.5 0.8 0.66	平成 21年度 平成 21年度 平成 21年度	島根県浜田市野原町 2433-2	
看護学研究科 看護学専攻	2	5	—	10	修士 (看護学)	1.3	平成 28年度	島根県出雲市西林木 町151	
大学 の 名 称	島根県立大学短期大学部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
健康栄養学科 保育学科 総合文化学科	2 2 2	— 40 40	— — —	— 80 80	短期大学士 (健康栄養 学) 短期大学士 (保育学) 短期大学士 (総合文化 学)	— 1.04 1.11	平成 19年度 平成 19年度 平成 19年度	島根県松江市浜乃木 7-24-2	平成30年度より学 生募集停止 平成30年度より入 学定員変更(50→ 40) 平成30年度より入 学定員変更(140→ 40)

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間文化学部 保育教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	廣瀬 隆司 (66(高)) <平成30年4月> スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 初等算数科教育法 算数 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校) 初等算数科授業研究 小学算数
専	教授	山下 由紀恵 (63) <平成30年4月> スタートアップセミナー キャリア・プランニング 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ
専	教授	園山 繁樹 (63(高)) <平成31年4月> スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児発達教育論 インクルーシブ教育論 ※ 幼児理解の理論と方法 ※ 障害児保育 ※ 知的障害児の心理 ※ 病弱児指導論 ※ 発達障害児教育総論 ※ 情緒障害児教育総論 発達アセスメント ※ 特別支援教育アセスメント ※
専	教授	岸本 強 (61) <平成30年4月> しまね地域共生学入門 ※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 健康 ※ 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育Ⅱ
専	教授	廣田 佳彦 (60) <平成30年4月> スタートアップセミナー キャリア・プランニング 卒業研究基礎演習 卒業研究 教職論(小・幼) ※ 教育原理(小・幼) 教育方法論(小・幼) ※ 道徳の指導法(小) 教育史 最新教育課題 ※

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	山下 由紀恵 (63) <平成30年4月> スタートアップセミナー キャリア・プランニング 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 障害児発達教育論 ※
専	教授	園山 繁樹 (63(高)) <平成31年4月> スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児発達教育論 ※ インクルーシブ教育論 ※ 幼児理解の理論と方法 ※ 障害児保育 ※ 知的障害児の心理 ※ 病弱児指導論 ※ 発達障害児教育総論 ※ 情緒障害児教育総論 発達アセスメント ※ 特別支援教育アセスメント ※
専	教授	岸本 強 (61) <平成30年4月> しまね地域共生学入門 ※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 健康 ※ 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育Ⅱ
専	教授	廣田 佳彦 (60) <平成30年4月> スタートアップセミナー キャリア・プランニング 卒業研究基礎演習 卒業研究 教職論(小・幼) ※ 教育原理(小・幼) 教育方法論(小・幼) ※ 道徳の指導法(小) 教育史 最新教育課題 ※



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	高橋 泰道 (57) <平成30年4月>
		環境の科学 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 環境 ※ 初等理科教育法 理科 生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校) 初等理科授業研究 小学理科
専	准教授	藤原 映久 (48) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 児童家庭福祉 ※ 社会的養護 社会的養護内容 相談援助演習 家庭支援論 ※ 保育実習Ⅰ(施設)指導 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ(施設)指導 保育実習Ⅲ(施設)
専	准教授	小山(小野) 優子 (45) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育原理 教育課程論(小・幼) 保育内容総論Ⅰ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育内容総論Ⅱ
専	准教授	西村 健一 (45) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児保育 ※ 知的障害児指導論 肢体不自由児指導論 知的障害児教育特論 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 発達障害児教育総論 ※ 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	高橋 泰道 (57) <平成30年4月>
		環境の科学 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 環境 ※ 初等理科教育法 理科 生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校) 初等理科授業研究 小学理科
専	准教授	藤原 映久 (48) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 児童家庭福祉 ※ 社会的養護 社会的養護内容 相談援助演習 家庭支援論 ※ 保育実習Ⅰ(施設)指導 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ(施設)指導 保育実習Ⅲ(施設)
専	准教授	小山(小野) 優子 (45) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育原理 教育課程論(小・幼) 保育内容総論Ⅰ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育内容総論Ⅱ
専	准教授	西村 健一 (45) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児保育 ※ 知的障害児指導論 肢体不自由児指導論 知的障害児教育演習 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 発達障害児教育総論 ※ 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	内山 仁志 (42) <平成30年4月>
		脳科学と心 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 知的障害児の心理 ※ 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 視覚障害児教育総論 発達障害児教育総論 ※ 発達障害児教育特論 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B
		福井 一尊 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 表現Ⅰ 初等図画工作科教育法 ※ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 保育内容 表現Ⅱ
		矢島 毅昌 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 人間関係 生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所) 学校教育と文化・社会
		山田 洋平 (35) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 保育教育文献講読 心理・教育統計調査法Ⅰ 心理・教育統計調査法Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 教育心理学(小・幼) 教育相談の基礎と方法(小・幼) 生徒・進路指導の理論と方法(小) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	内山 仁志 (42) <平成30年4月>
		脳科学と心 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 知的障害児の心理 ※ 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 視覚障害児教育総論 発達障害児教育総論 ※ 発達障害児教育 <b>演習</b> 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B
		福井 一尊 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 表現Ⅰ 初等図画工作科教育法 ※ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 保育内容 表現Ⅱ
		矢島 毅昌 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 人間関係 生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所) 学校教育と文化・社会
		山田 洋平 (35) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 保育教育文献講読 心理・教育統計調査法Ⅰ 心理・教育統計調査法Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 教育心理学(小・幼) 教育相談の基礎と方法(小・幼) 生徒・進路指導の理論と方法(小) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	前林 英貴 (46) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 子どもの保健ⅠA 子どもの保健ⅠB 子どもの保健Ⅱ 救命救急法・応急手当法 乳児保育 病弱児指導論 ※
専	講師	梶間 奈保 (34) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 表現Ⅲ ※ 初等音楽科教育法 ※ 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 教職実践演習(小・幼) 保育内容 表現Ⅳ ※ 音楽Ⅲ
専	講師	中井 悠加 (33) <平成31年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 言葉研究(読み聞かせ実践) 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 言葉 初等国語科教育法(書写を含む) 国語(書写を含む) 初等国語科授業研究
専	助教	牧瀬 翔麻 (27) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 保育教育文献講読 卒業研究基礎演習 卒業研究 教育制度論(小・幼)
兼任	教授	長島 玲子 (64) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	安藤 彰朗 (61) <平成30年10月>
		生物と栄養
兼任	教授	石橋 照子 (59) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	高橋 恵美子 (58) <平成32年10月>
		保育内容 健康 ※
兼任	教授	林 秀司 (54) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	岩田 英作 (54) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	若崎 淳子 (53) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	前林 英貴 (46) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 子どもの保健ⅠA 子どもの保健ⅠB 子どもの保健Ⅱ 救命救急法・応急手当法 乳児保育 病弱児指導論 ※
専	講師	梶間 奈保 (34) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 表現Ⅲ ※ 初等音楽科教育法 ※ 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 教職実践演習(小・幼) 保育内容 表現Ⅳ ※ 音楽Ⅲ
専	講師	中井 悠加 (33) <平成31年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 言葉研究(読み聞かせ実践) 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 言葉 初等国語科教育法(書写を含む) ※ 国語(書写を含む) ※ 初等国語科授業研究
専	助教	牧瀬 翔麻 (27) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー 保育教育文献講読 卒業研究基礎演習 卒業研究 教育制度論(小・幼)
兼任	准教授	井上 千晶 (40) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	安藤 彰朗 (61) <平成30年10月>
		生物と栄養
兼任	准教授	大森 真澄 (56) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	高橋 恵美子 (58) <平成32年10月>
		保育内容 健康 ※
兼任	教授	林 秀司 (54) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	岩田 英作 (54) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	松本 実智江 (58) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼担	教授	川中 淳子 (51) ＜平成30年4月＞ しまね地域共生学入門 ※
兼担	教授	工藤 泰子 (46) ＜平成30年10月＞ しまね文化論
兼担	准教授	増原 善之 (56) ＜平成32年4月＞ 基礎タイ語 タイ語
兼担	准教授	寺田 哲志 (56) ＜平成30年4月＞ しまね地域共生学入門 ※
兼担	准教授	塩谷 もも (46) ＜平成32年4月＞ 基礎インドネシア語 インドネシア語
兼担	准教授	石井 大輔 (38) ＜平成30年10月＞ 市民社会と図書館 情報メディアの活用
兼担	講師	齋藤(杉下) 暁子 (42) ＜平成30年4月＞ しまね地域共生学入門 ※
兼担	講師	松尾 哲也 (41) ＜平成30年4月＞ しまね地域共生学入門 ※
兼担	准教授	木内 公一郎 (53) ＜平成32年4月＞ 学校図書館論 学習指導と学校図書館 学校図書館メディアの構成
兼任	講師	宮崎 英憲 (75) ＜平成31年10月＞ インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	多々納 道子 (71) ＜平成32年10月＞ 初等家庭科教育法 家庭
兼任	講師	園山 士筆 (71) ＜平成30年4月＞ 表現とコミュニケーション
兼任	講師	長島 美保子 (69) ＜平成33年10月＞ 子どもの食と栄養
兼任	講師	新倉 健 (67) ＜平成31年4月＞ 音楽
兼任	講師	大塚 茂 (67) ＜平成31年4月＞ 現代経済学
兼任	講師	崔 貞美 (63) ＜平成32年4月＞ 基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	岡田 正樹 (67) ＜平成32年10月＞ 初等音楽科教育法 ※
兼任	講師	倉田 隆 (66) ＜平成30年4月＞ 哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (66) ＜平成31年4月＞ 読書と豊かな人間性
兼任	講師	山尾 淳子 (66) ＜平成32年4月＞ 保育内容 環境 ※ 保育相談支援
兼任	講師	石井 尚吾 (66) ＜平成31年10月＞ 知的障害児の生理・病理 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼担	教授	工藤 泰子 (46) ＜平成30年10月＞ しまね文化論
兼担	准教授	増原 善之 (56) ＜平成32年4月＞ 基礎タイ語 タイ語
兼担	教授	藤原 真砂 (87) ＜平成30年4月＞ しまね地域共生学入門 ※
兼担	准教授	塩谷 もも (46) ＜平成32年4月＞ 基礎インドネシア語 インドネシア語
兼担	准教授	石井 大輔 (38) ＜平成30年10月＞ 市民社会と図書館 情報メディアの活用
兼担	教授	八田 典子 (59) ＜平成30年4月＞ しまね地域共生学入門 ※
兼担	准教授	久保田 典男 (45) ＜平成30年4月＞ しまね地域共生学入門 ※
兼担	准教授	木内 公一郎 (53) ＜平成32年4月＞ 学校図書館論 学習指導と学校図書館 学校図書館メディアの構成
兼任	講師	宮崎 英憲 (75) ＜平成31年10月＞ インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	多々納 道子 (71) ＜平成32年10月＞ 初等家庭科教育法 家庭
兼任	講師	園山 士筆 (71) ＜平成30年4月＞ 表現とコミュニケーション
兼任	講師	長島 美保子 (69) ＜平成33年10月＞ 子どもの食と栄養
兼任	講師	新倉 健 (67) ＜平成31年4月＞ 音楽
兼任	講師	大塚 茂 (67) ＜平成31年4月＞ 現代経済学
兼任	講師	崔 貞美 (63) ＜平成32年4月＞ 基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	岡田 正樹 (67) ＜平成32年10月＞ 初等音楽科教育法 ※
兼任	講師	倉田 隆 (66) ＜平成30年4月＞ 哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (66) ＜平成31年4月＞ 読書と豊かな人間性
兼任	講師	山尾 淳子 (66) ＜平成32年4月＞ 保育内容 環境 ※ 保育相談支援
兼任	講師	石井 尚吾 (66) ＜平成31年10月＞ 知的障害児の生理・病理 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	仲野 寛 (65) ＜平成31年4月＞
		生涯学習概論
兼任	講師	小玉 容子 (65) ＜平成30年4月＞
		英語 I 英語 II 初等外国語教育法
兼任	講師	木村 吉彦 (65) ＜平成32年4月＞
		初等生活科教育法
兼任	講師	鹿野 一厚 (64) ＜平成30年4月＞
		人間と自然
兼任	講師	有田 幸 (63) ＜平成30年4月＞
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	川上 洋子 (63) ＜平成31年10月＞
		キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校)
		白川 浩 (61) ＜平成30年4月＞
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	白川 千春 (61) ＜平成30年4月＞
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	武田 信明 (60) ＜平成31年10月＞
		文学
兼任	講師	石倉 優子 (60) ＜平成33年10月＞
		家庭支援論 ※
兼任	講師	青山 啓子 (60) ＜平成30年10月＞
		キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所)
		梶谷 朱美 (59) ＜平成32年4月＞
		初等体育科教育法 初等体育科授業研究
		武田 千代美 (59) ＜平成32年10月＞
		音楽療法論
		瀬島 斉 (59) ＜平成31年4月＞
病弱児の心理・生理・病理		
兼任	講師	飯塚 由美 (58) ＜平成30年4月＞
		心理学 情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ
兼任	講師	秦 昌子 (58) ＜平成31年10月＞
		保育内容 表現Ⅲ ※
兼任	講師	加藤 寿朗 (58) ＜平成32年10月＞
		初等社会科教育法 社会
兼任	講師	渡辺 一弘 (56) ＜平成30年4月＞
		教職論(小・幼) ※ 最新教育課題 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	仲野 寛 (65) ＜平成31年4月＞
		生涯学習概論
兼任	講師	小玉 容子 (65) ＜平成30年4月＞
		英語 I 英語 II 初等外国語教育法
兼任	講師	木村 吉彦 (65) ＜平成32年4月＞
		初等生活科教育法
兼任	講師	鹿野 一厚 (64) ＜平成30年4月＞
		人間と自然
兼任	講師	有田 幸 (63) ＜平成30年4月＞
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	川上 洋子 (63) ＜平成31年10月＞
		キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校)
		白川 浩 (61) ＜平成30年4月＞
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	白川 千春 (61) ＜平成30年4月＞
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	武田 信明 (60) ＜平成31年10月＞
		文学
兼任	講師	石倉 優子 (60) ＜平成33年10月＞
		家庭支援論 ※
兼任	講師	青山 啓子 (60) ＜平成30年10月＞
		キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所)
		梶谷 朱美 (59) ＜平成32年4月＞
		初等体育科教育法 初等体育科授業研究
		武田 千代美 (59) ＜平成32年10月＞
		音楽療法論
		瀬島 斉 (59) ＜平成31年4月＞
病弱児の心理・生理・病理		
兼任	講師	飯塚 由美 (58) ＜平成30年4月＞
		心理学 情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ
兼任	講師	秦 昌子 (58) ＜平成31年10月＞
		保育内容 表現Ⅲ ※
兼任	講師	加藤 寿朗 (58) ＜平成32年10月＞
		初等社会科教育法 社会
兼任	講師	渡辺 一弘 (56) ＜平成30年4月＞
		教職論(小・幼) ※ 最新教育課題 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	小脇 洋 (56) ＜平成31年10月＞
		インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	一盛 真 (56) ＜平成32年4月＞
		特別活動の指導法(小)【隔年】
兼任	講師	山本 ユミ (55) ＜平成32年4月＞
		健康スポーツⅢ
兼任	講師	妻藤 純子 (55) ＜平成32年10月＞
		初等図画工作科教育法 ※
兼任	講師	宮下 裕一 (55) ＜平成30年4月＞
		児童家庭福祉 ※
		社会福祉概論
		保育実習Ⅰ(施設)指導
		保育実習Ⅲ(施設)指導
兼任	講師	岡本 千佳子 (54) ＜平成30年10月＞
		言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	平岩 里佳 (52) ＜平成31年4月＞
		肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	鳥谷 聡子 (49) ＜平成32年4月＞
		基礎中国語 中国語
兼任	講師	代(加藤)香織 (49) ＜平成30年4月＞
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ)
		音楽基礎Ⅱ(ピアノ) 音楽Ⅲ
兼任	講師	小倉 佳代子 (46) ＜平成32年4月＞
		情報機器の操作Ⅲ
兼任	講師	渡邊 寛智 (46) ＜平成32年4月＞
		保育内容 表現Ⅳ ※
		音楽Ⅲ 音楽Ⅳ
兼任	講師	尾崎 智子 (42) ＜平成30年10月＞
		言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	Dustin John Kidd (40) ＜平成30年4月＞
		アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修
兼任	講師	Lamichane Kamal (36) ＜平成31年10月＞
		インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	黒澤 修一郎 (35) ＜平成31年10月＞
		日本国憲法
兼任	講師	菊野 雄一郎 (34) ＜平成32年4月＞
		発達心理学Ⅰ
		発達心理学Ⅱ
		幼児理解の理論と方法 ※ 発達アセスメント ※
兼任	講師	中井 悠加 (33) ＜平成30年10月＞
		言葉研究(読み聞かせ実践)
		保育内容 言葉 ※
		初等国語科教育法(書写を含む) 国語(書写を含む) 初等国語科授業研究
兼任	講師	内田 絢子 (31) ＜平成30年10月＞
		言葉研究(読み聞かせ実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	小脇 洋 (56) ＜平成31年10月＞
		インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	一盛 真 (56) ＜平成32年4月＞
		特別活動の指導法(小)【隔年】
兼任	講師	山本 ユミ (55) ＜平成32年4月＞
		健康スポーツⅢ
兼任	講師	妻藤 純子 (55) ＜平成32年10月＞
		初等図画工作科教育法 ※
兼任	講師	宮下 裕一 (55) ＜平成30年4月＞
		児童家庭福祉 ※
		社会福祉概論
		保育実習Ⅰ(施設)指導
		保育実習Ⅲ(施設)指導
兼任	講師	岩田 裕子 (45) ＜平成30年10月＞
		言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	平岩 里佳 (52) ＜平成31年4月＞
		肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	鳥谷 聡子 (49) ＜平成32年4月＞
		基礎中国語 中国語
兼任	講師	代(加藤)香織 (49) ＜平成30年4月＞
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ)
		音楽基礎Ⅱ(ピアノ) 音楽Ⅲ
兼任	講師	小倉 佳代子 (46) ＜平成32年4月＞
		情報機器の操作Ⅲ
兼任	講師	渡邊 寛智 (46) ＜平成32年4月＞
		保育内容 表現Ⅳ ※
		音楽Ⅲ 音楽Ⅳ
兼任	講師	尾崎 智子 (42) ＜平成30年10月＞
		言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	Dustin John Kidd (40) ＜平成30年4月＞
		アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修
兼任	講師	Lamichane Kamal (36) ＜平成31年10月＞
		インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	黒澤 修一郎 (35) ＜平成31年10月＞
		日本国憲法
兼任	講師	菊野 雄一郎 (34) ＜平成32年4月＞
		発達心理学Ⅰ
		発達心理学Ⅱ
		幼児理解の理論と方法 ※ 発達アセスメント ※
兼任	講師	中井 悠加 (33) ＜平成30年10月＞
		言葉研究(読み聞かせ実践)
		保育内容 言葉 ※
		初等国語科教育法(書写を含む) 国語(書写を含む) 初等国語科授業研究
兼任	講師	内田 絢子 (31) ＜平成30年10月＞
		言葉研究(読み聞かせ実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	前村 晴奈 (28) <平成30年4月>
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	加藤 明 (67) <平成31年10月>
		教育方法論(小・幼) ※
兼任	講師	高田 哲 (66) <平成31年10月>
		病弱児指導論 ※
兼任	講師	佐々木 章友 (57) <平成31年10月>
		病弱児指導論 ※
兼任	講師	片岡 佳美 (47) <平成30年10月>
		社会学
兼任	講師	加藤 泰寛 (44) <平成30年4月>
		しまねボランティア研修

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	前村 晴奈 (28) <平成30年4月>
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	加藤 明 (67) <平成31年10月>
		教育方法論(小・幼) ※
兼任	講師	高田 哲 (66) <平成31年10月>
		病弱児指導論 ※
兼任	講師	佐々木 章友 (57) <平成31年10月>
		病弱児指導論 ※
兼任	講師	片岡 佳美 (47) <平成30年10月>
		社会学
兼任	講師	目次 和恵 (49) <平成30年4月>
		しまねボランティア研修
兼任	講師	福田 哲之 (81) <平成31年4月>
		初等国語科教育法(書写を含む) ※ 国語(書写を含む) ※

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・廣瀬隆司教授の就任辞退。後任を平成30年10月採用予定（平成30年度第1回AC教員教員審査にて審査中。教職課程に関する科目は、平成30年4月2日付で判定・可）

- ・「しまね地域共生学入門」の兼任教員の変更。  
 ※兼任教授・長島玲子→兼任准教授・井上千晶  
 ※兼任教授・石橋照子→兼任准教授・大森真澄  
 ※兼任教授・若崎淳子→兼任准教授・松本玄智江  
 ※兼任講師・齋藤(杉下)晴子→兼任教授・八田典子  
 ※兼任准教授・寺田哲志、兼任教授・川中淳子→兼任教授・藤原真砂  
 ※兼任講師・松尾哲也→兼任准教授・久保田典男

- ・兼任講師の就任辞退に伴う変更。  
 ※「しまねボランティア研修」……兼任講師・加藤泰寛→兼任講師・目次和恵  
 ※「言葉研究（読み聞かせ実践）」……兼任講師・岡本千佳子→兼任講師・岩田裕子

- ・教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり変更  
 ※「障害児発達教育論」……教授・園山繁樹→教授・園山繁樹、教授・山下由紀恵。教授・山下由紀恵は平成29年12月AC教員審査済み（判定・可）  
 ※「知的障害児教育特論」……科目名称を「知的障害児教育演習」に変更。准教授・西村健一は平成29年12月AC教員審査済み（判定・可）  
 ※「発達障害児教育特論」……科目名称を「発達障害児教育演習」に変更。准教授・内山仁志は平成29年12月AC教員審査済み（判定・可）

- ・教員資格審査において不可判定を受けた科目について以下のとおり変更。なお、以下の対応については平成29年12月AC教員審査において「教員資格審査結果への対応を記載した書類」を提出している。  
 ※「初等国語科教育法（書写を含む）」……オムニバス科目に変更（担当教員…講師・中井悠加、兼任講師・福田哲之）。講師・中井悠加は平成29年12月AC教員審査済み（判定・可）  
 ※「国語（書写を含む）」……オムニバス科目に変更（担当教員…講師・中井悠加、兼任講師・福田哲之）。講師・中井悠加は平成29年12月AC教員審査済み（判定・可）  
 ※「キャリアプランニング」……助教・牧瀬翔麻を科目担当者から除外  
 ※「保育教育職インターンシップ」……助教・牧瀬翔麻を科目担当者から除外

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済み」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14	7
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
5	7	3	1	16	4	7	2	1	14	4	7	3	1	15
(5)	(7)	(2)	(1)	(15)						[ Δ1 ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ Δ1 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）。および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C) =  $\frac{15}{16} = 93.75$  %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 =  $\frac{0}{14} = 0$  %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	廣瀬 隆司	必修	スタートアップセミナー	③	一身上の都合により当該教員より平成29年11月14日付けで就任辞退届が提出され、平成30年2月5日開催の理事会において審議・承認した。(30)				
			必修	卒業研究基礎演習	③					
			必修	卒業研究	③					
			必修	教職実践演習（小・幼）	③					
			選択	キャリア・プランニング	③					
			選択	保育教育職インターンシップ	③					
			選択	初等算数科教育法	③					
			選択	算数	③					
			選択	教育実習Ⅱ（小学校）指導	③					
			選択	教育実習Ⅱ（小学校）	③					
			選択	初等算数科授業研究	③					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし	必修							
			選択							
			必修							
			自由							
			必修							
			必修							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)		後任補充状況の集計(E) + (G)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{16} = \boxed{6.25} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし	必修							
			選択							
			必修							
			自由							
			必修							
			必修							
合計										
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廣瀬教授については、一身上の都合により平成29年11月に辞退届が提出されたが、教職課程認定の審査中であったことから取り扱いの確認・法人内部での対応に時間を要したため、平成30年4月採用での後任選考は困難であった。辞退届の受理後に後任選考を行い、同分野の後候補者を決定し、平成30年度第1回AC教員審査を受審中である。1年春学期担当予定科目「スタートアップセミナー」は、十分な教員配置がなされているため学生の履修・授業運営に支障はないと判断している。このため現時点で学生への周知は行っていない。後任教員については、本学への着任後(平成30年10月を予定)学生に対して紹介する予定である。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

平成30年9月5日差替版

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p style="text-align: center;">設 置 時</p> <p>(平成29年8月)</p>	<p>教員の補充を必要とされた4授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(保育教育学科)</p>	<p>教員の補充を指摘された各科目の対応状況をそれぞれ以下に記載する。                      なお、添付資料として、③④の「シラバス(別紙)」と、①～④の対応について平成29年12月AC教員審査の際に提出した「教員資格審査結果への対応を記載した書類(別紙)」を提出する(30)。</p> <p>【①初等国語科教育法(書写を含む)】                      授業計画を見直し、書写指導に関する内容を拡充(1回→2回)した。また、当該事項を担当する兼任教員として教育研究業績の豊富な島根大学教授・福田哲之氏を兼任教員として追加し、中井悠加講師とオムニバス科目とした(中井講師については、変更後の内容で、平成29年12月AC教員審査にて可の判定を受けている)(30)。</p> <p>【②国語(書写を含む)】                      授業計画を見直し、書くことに関する内容6回のうち、3回を書写に関する内容とした。また、上記①と同様に兼任教員として福田哲之氏を追加し、中井悠加講師とオムニバス科目とした(中井講師については、変更後の内容で、平成29年12月AC教員審査にて可の判定を受けている)(30)。</p>	<p style="text-align: center;">履行済</p> <p style="text-align: center;">履行済</p>

	<p>教員の補充を必要とされた4授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(保育教育学科)</p>	<p>【③キャリアプランニング】      当該科目の専任教員として「可」の判定を受けた教員は、「不可」となった牧瀬助教を除く保育教育学科専任教員15名と、兼任教員2名(教職センター所属)である。不可となった1名については引き続き当該分野の業績を積み、科目を担当者として可となるよう指導を行っている。      なお、参考資料として本科目のシラバスを添付し、授業実施上の教員体制を補足説明する。      この授業では、第1回から第5回までを学科のシラバスに示した専任教員と兼任教員、卒業生(ゲストスピーカー)により指導を進める。      第6回から第10回までは本学のキャリアセンターの指導と連携しつつ、兼任教員が中心となって指導を行う(科目責任者として専任教員(学科長)がコーディネートを行う)。      第11回から第15回までの就職試験対策の模擬面接・集団討論等の体験指導については、学生を希望職種グループ別に分けて専任教員に割り振り、就職試験対策の希望職種別支援指導を行う。この授業は選択科目であるが、仮に入学定員40名の学生を均等に教員に割り振っても1名当たりが受け持つ学生は2~3名である。      以上のような教員体制での授業運営を行っていく。不可となった教員1名は教職センターの兼任教員としても配置しており、授業外で学生の履修指導等を経験させている。当該分野の教育研究業績が積み増せた段階でAC教員審査を受審予定であるが、仮に科目開講時に間に合わない場合であっても、授業運営に重大な支障が出る恐れは低いと考えている(30)。</p>	<p>審査で不可となった教員1名(牧瀬助教)については、教職センターの兼任教員として配置し、教職センター配属の兼任教員2名と専任教員による教職課程運営の補助業務(学生の履修指導等)を担当させている。AC期間中に教育研究業績を積み増し、教員審査受審の上、当該科目の指導体制に参加できるように計画している。</p>
--	--	--	---

留意事項

未履行

<p>教員の補充を必要とされた4授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(保育教育学科)</p>	<p style="text-align: center; color: red;">留意事項</p>	<p>【④保育教育職インターンシップ】 「キャリアプランニング」と同様、当該科目の専任教員として「可」の判定を受けた教員は、「不可」となった牧瀬助教を除く保育教育学科専任教員15名と、名簿の兼任教員2名(教職センター所属)である。不可となった1名については引き続き当該分野の業績を積み、科目を担当者として可となるよう指導を行っている。 なお、参考資料として本科目のシラバスを添付し、授業実施上の教員体制を補足説明する。 この授業では、インターンシップの前のガイダンスと、事前指導及び事後指導については、シラバスに示した専任教員と兼任教員により指導を進める。インターンシップ実習中は学生を個別に支援する体制として、インターンシップ履修学生の人数に応じて、専任教員に学生を個別に割り振り、実習中の個別の相談支援を行う。必要に応じて学科全体で責任をもって対応にあたる。「キャリアプランニング」と同様、当該科目は選択科目であり、仮に入学定員40名の全てが受講したとしても十分な教員を配置している。 不可となった教員1名は教職センターの兼任教員としても配置しており、授業外で学生の履修指導等を経験させている。当該分野の教育研究業績が積み増せた段階でAC教員審査を受審予定であるが、仮に科目開講時に間に合わない場合であっても、授業運営に重大な支障が出る恐れは低いと考えている(30)。</p>	<p style="text-align: center;">未履行</p> <p>審査で不可となった教員1名(牧瀬助教)については、教職センターの兼任教員として配置し、教職センター配属の兼任教員2名と専任教員による教職課程運営の補助業務(学生の履修指導等)を担当させている。AC期間中に教育研究業績を積み増し、教員審査受審の上、当該科目の指導体制に参加できるように計画している。</p>
---	---	--	--

<p>設置時 (平成29年8月)</p>	<p>「初等国語科教育法(書写を含む)」のシラバスについて、書写指導に関する内容が15回の授業計画のうち、1回の中で文字指導とあわせて行うと記載されている。学習指導要領の内容や、小学校の書写の授業回数から考えて少なすぎるため、書写指導に関する内容を充実することが望ましい。(保育教育学科)</p>	<p>改善意見</p>	<p>当該科目については、授業計画を見直し、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の3回のうち2回を書写指導とし、内容を充実させた。また、当該分野の教育研究業績豊富な兼任教員(1名)を追加し、書写指導部分を担当いただくこととしている。これにより本件については履行済みと判断した(30)。</p>	<p>履行済</p>	
--------------------------	--	-------------	--	------------	--

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)



④FD連絡会(授業見学後に実施する教員同士のディスカッション)

③の授業見学実施後、全専任教員を対象として授業見学を通じての振り返りと、グループワークを実施し、授業見学から得たことの共有や、授業改善等に関する意見交換を行う。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

上記①～④について、専任教員は原則全員が参加する事業である(ただし、授業評価アンケートは対象の学期に授業を担当しない場合は対象から外れる)。平成30年度の各事業については、FD委員会において実施時期・内容・方法等を検討し、教員に対して周知する予定である。

なお、人間文化学部開設に先立ち平成29年10月14日に、人間文化学部及び併設する短期大学の教員を対象とした顔合わせ・学科別打ち合わせ会等を開催し、現任教員のほか、新規採用教員23名中21名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後実施する①～④の各事業を踏まえ取り組む予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

春学期・秋学期に開講するすべての授業科目を対象に、原則として授業最終日に授業評価アンケートを実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は全体と授業別に集計の上、各教員に配付する。教員は後日フィードバックレポートを作成し、学生に公表する。学生へのレポートの公表は学内LANへの掲載により行う。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)



### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

##### 1. 人間文化学部の設置の趣旨・目的

###### ■人間文化学部の教育研究上の理念

人間文化学部は、人間形成及び人間によって歴史的に創出・形成されてきた文化について探究し、地域社会と連携した実践的で学術的な教育研究を推進する。地域における文化の発見と継承、再生に取り組み、地域で活躍できる実践力を兼ね備えた人材を育成することを通して、関連する学術分野の進展と地域社会の発展に寄与することを目的とする。

###### 【保育教育学科】

保育教育学科では、人間形成（特に乳幼時期・児童期）の在り方を中心とした教育研究を推進し、地域文化や児童文化を次世代に向けて継承し得る豊かな人間性を備えた保育者・教育者を育成する。乳幼児期から児童期までの子どもの成長・発達を見通して考えることのできる広い視野と高度な専門性を持ち、地域の様々な環境に置かれた子どもや障害のある子どもに対応し得る高い実践力を備えた人材を育成する。

###### ■人間文化学部の育成する人材像

人間文化学部は、教育研究上の目的に掲げる「地域における文化の発見と継承、再生に取り組み、地域で活躍できる実践力を兼ね備えた人材」を育成する。

###### 【保育教育学科】

保育教育学科は、「地域文化や児童文化を次世代に向けて継承し得る豊かな人間性をもった保育者・教育者」及び「乳幼児期から児童期までの子どもの成長・発達を見通して考えることのできる広い視野と高度な専門性を持ち、地域の様々な環境に置かれた子どもや障害のある子どもに対応し得る高い実践力を備えた人材」を育成する。

##### 2. 達成状況に関する総括評価・所見

第1期生となる平成30年度入学者選抜試験において、保育教育学科では以下のアドミッションポリシーを掲げて入学者選抜を実施した。

###### [知識・技能]

保育者・教育者としての専門的知識や技能を身に付けていくために必要な基礎的な学力を有している人

###### [思考力・判断力・表現力]

多様な角度から課題を捉え、自分の視点で考察した上で、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

###### [関心・意欲・態度]

保育者・教育者として、大学で学んだ専門的知識や技能を地域に還元し、他者と協調しながら社会に貢献していこうとする強い意欲を有している人

定員40名に対して130名の出願（出願倍率3.25倍）があり、最終的に43名が入学した。志願者の出身地は18府県におよび、短期大学部保育学科（8府県）と比較して広い範囲から志願者を獲得することができた。大学間競争が激しくなる中で、全国から多数の出願者・受験者があったことは、本学の教育研究理念や育成する人材像が社会的に高い関心をもたれている証であると考えられる。

また、上記人材を育成するため、カリキュラムポリシーに基づき編成した教育課程において、平成30年度に開講すべき科目は全て計画通り開講している。

専任教員については、専任教授就任予定者・廣瀬隆司氏より、就任辞退があり理事会での審議・承認を経て、受理することとなった。後任教員の選考を行い同分野の教授候補者を選考し、現在、平成30年度第1回AC教員審査を受審しているところである（平成30年10月採用予定）。

なお、設置認可申請における教員追加の判定を受けた4科目については、当該分野の教育研究業績の豊富な兼任教員を追加したものが2科目（「初等国語科教育法（書写を含む）」「国語（書写を含む）」）、指摘を受けた教員以外の担当で科目を開講するものが2科目（「キャリアプランニング」「保育教育職インターシップ」）であり、いずれも平成29年12月AC教員審査の際に対応状況を説明した文書を提出している。

また、教職課程認定審査の結果、科目名称が変更となったものが2科目（「知的障害児教育特論→知的障害児教育演習」「発達障害児教育特論→発達障害児教育演習」）、担当教員の追加となったものが1科目（障害児発達教育論）があるが、いずれも平成29年12月AC教員審査を受審し、判定・可を得ている。

校舎については、1号館・2号館については平成29年度中にバリアフリー化、設備更新、用途変更等の工事を計画通り実施した。3号館については平成30年度中にバリアフリー化、設備更新等の工事を実施する。図書館棟についても、計画通り平成30年度中の竣工を目指し、工事を進めている。

以上のとおり、専任教員配置計画において計画を変更した部分があるが、本学部・学科の設置計画の達成状況は概ね計画通りであると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

毎年度、中期計画及び年度計画に対する自己点検評価を行い、業務実績報告書を作成している。

前身となる島根県立大学短期大学部は、平成23年度に自己点検・評価報告書を作成し、財団法人大学基準協会による認証評価を受審し、適合の判定を受けている。適合期間の満了を迎えるため、現在、同協会での認証評価を受審中である。

島根県立大学は、短期大学部同様に財団法人大学基準協会から認証評価の適合判定を受けている。今後、平成32年3月末をもって適合期間が満了するため、現在、同協会による認証評価を受審するための準備を進めている。

b 公表方法

自己点検・評価の内容は大学ホームページ上で公開する。

③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度に財団法人大学基準協会の評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年12月末日までの公表を予定 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人島根県立大学

## (2) 大学名

島根県立大学

## (3) 大学の位置

〒690-0044

島根県松江市浜乃木7-24-2

(〒697-0016)

(島根県浜田市野原町2433-2)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成29年4月1日)		
学長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成29年4月1日)		
学部長	(イワタ エイサク) 岩田 英作 (平成30年4月1日)		
学科長等	(マツウラ ユウジ) 松浦 雄二 (平成30年4月1日)		地域文化学科長

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間文化学部 地域文化学科 学士(地域文化学)	文学関係	4年	70人	3年次人	286人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70 ( - ) [ - ]	-	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1.05倍	
志願者数	215 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	156 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	75 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	74 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	74 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	74 [ - ] ( - )		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	74 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	74 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{74} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間文化学部 保育教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2								兼1
		心理学	1後	2								兼1
		音楽	2前	2								兼1
		文学	2後	2								兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2								兼1
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2			1					兼1
		社会学	1後	2								兼1
		現代経済学	1前	2								兼1
		生涯学習概論	2前	2								兼1
		日本国憲法	2後	2								兼1
	人間と自然	人間と自然	1前	2								兼1
		脳科学と心	1後	2								兼1
		生物と栄養	1後	2								兼1
		環境の科学	2後	2								兼1
	しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2			1					兼11
		しまね文化論	1後	2			1					兼1
		しまねボランティア研修	1・2通	1								兼1
	体育	健康スポーツ概論	1後	1								兼1
		健康スポーツⅠ	1前	1								兼1
		健康スポーツⅡ	1後	1								兼1
		健康スポーツⅢ	2前	1								兼1
外国語	基礎中国語	1前	1								兼1	
	中国語	1後	1								兼1	
	基礎韓国語	1前	1								兼1	
	韓国語	1後	1								兼1	
	基礎タイ語	1前	1			1					兼1	
	タイ語	1後	1			1					兼1	
	基礎インドネシア語	1前	1			1					兼1	
	インドネシア語	1後	1			1					兼1	
デザイン	スタートアップセミナーⅠ	1前	1			7	6	5				
	スタートアップセミナーⅡ	1後	1			7	6	5				
	キャリアデザインⅠ	1後	1			1						
	キャリアデザインⅡ	2前	1			1						
	キャリアデザインⅢ	3前	1			1						
	インターンシップ	2通	1			1						
	リテラシー	総合英語Ⅰ(多読)	1前	1			1					兼1
		総合英語Ⅱ(リスニング)	1前	1			1					兼1
総合英語Ⅲ(リーディング)		1後	1			1					兼1	
総合英語Ⅳ(英会話)		1後	1			1					兼1	
実践英語Ⅰ(TOEIC対策)		1前	1			1					兼1	
実践英語Ⅱ(TOEIC対策)		1後	1			1					兼1	
実践英語Ⅲ(観光英検英語)		2前	1			1					兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2								兼1
		心理学	1後	2								兼1
		音楽	2前	2								兼1
		文学	2後	2								兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2								兼1
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2			1					兼1
		社会学	1後	2								兼1
		現代経済学	1前	2								兼1
		生涯学習概論	2前	2								兼1
		日本国憲法	2後	2								兼1
	人間と自然	人間と自然	1前	2								兼1
		脳科学と心	1後	2								兼1
		生物と栄養	1後	2								兼1
		環境の科学	2後	2								兼1
	しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2			1					兼10
		しまね文化論	1後	2			1					兼1
		しまねボランティア研修	1・2通	1								兼1
	体育	健康スポーツ概論	1後	1								兼1
		健康スポーツⅠ	1前	1								兼1
		健康スポーツⅡ	1後	1								兼1
		健康スポーツⅢ	2前	1								兼1
外国語	基礎中国語	1前	1								兼1	
	中国語	1後	1								兼1	
	基礎韓国語	1前	1								兼1	
	韓国語	1後	1								兼1	
	基礎タイ語	1前	1			1					兼1	
	タイ語	1後	1			1					兼1	
	基礎インドネシア語	1前	1			1					兼1	
	インドネシア語	1後	1			1					兼1	
デザイン	スタートアップセミナーⅠ	1前	1			7	5	6				
	スタートアップセミナーⅡ	1後	1			7	5	6				
	キャリアデザインⅠ	1後	1			1						
	キャリアデザインⅡ	2前	1			1						
	キャリアデザインⅢ	3前	1			1						
	インターンシップ	2通	1			1						
	リテラシー	総合英語Ⅰ(多読)	1前	1			1					兼1
		総合英語Ⅱ(リスニング)	1前	1			1					兼1
総合英語Ⅲ(リーディング)		1後	1			1					兼1	
総合英語Ⅳ(英会話)		1後	1			1					兼1	
実践英語Ⅰ(TOEIC対策)		1前	1			1					兼1	
実践英語Ⅱ(TOEIC対策)		1後	1			1					兼1	
実践英語Ⅲ(観光英検英語)		2前	1			1					兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎科目	情報リテラシー	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								兼2
		コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								兼2
		情報サービス論	2後	2			1					
		情報サービス演習	3前	1			1					
		情報検索	2前	1								兼1
		情報技術論	3前	2			1					
		情報メディアの活用	3後	2			1					
専門基礎科目	入門	地域文化入門	1前	1			7	6	5			
	文化の発見	地域文化論Ⅰ(小泉八雲)	1後	2								兼1
		地域文化論Ⅱ(出雲)	1前	2		1		2				兼2
		地域文化論Ⅲ(山陰)	1後	2				1				
		地域文化論Ⅳ(地域資源)	1後	2			1					
	文化の体験	しまね文学探訪	1前	2		1						兼1
		しまね歴史探訪	1後	2				1				
		しまね民俗探訪	2前	2				1				
		しまねのまちづくり	1-2後	2			1					
		しまね図書館学	2後	2			2					
		読み聞かせの実践	2前	2								兼2
		Kids' English入門	2前	2			1					
	Kids' English	2後	2			1					兼1	
	文化の活用	観光と文化	1前	2		1						
		観光と地域資源	1後	2		1						
		まちづくりと協働	1前	2				1				
		観光まちづくり論	1後	2				1				
		観光まちづくり演習	2前	2				1				
		人と地域の調査法	2前	2								兼1
		観光フィールドトリップ	3前	2								兼1
卒業研究	地域文化プロジェクトⅠ	3通	3			7	6	5				
	地域文化プロジェクトⅡ	4通	3			7	6	5				
専門科目	日本の文化と歴史	日本文化概論	1前	2				1				
		日本文化論Ⅰ(居住文化)	2前	2			1					
		日本文化論Ⅱ(祭礼文化)	2後	2								兼1
		日本文化論Ⅲ(妖怪文化)	3前	2								兼1
		日本文化論Ⅳ(表象文化)	3後	2								兼1
		日本の歴史Ⅰ(文化史)	2前	2					1			
		日本の歴史Ⅱ(観光史)	2後	2		1						
		日本の歴史Ⅲ(近世)	3前	2					1			
		日本の歴史Ⅳ(近現代)	3後	2								兼1
		古文書を読む	2後	2					1			
		日本文化演習Ⅰ(茶道)	2前	1								兼1
		日本文化演習Ⅱ(華道)	2後	1								兼1
		書道Ⅰ(基礎)	3前	1								兼1
		書道Ⅱ(発展)	3後	1								兼1
		日本文化特殊講義	3前	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎科目	情報リテラシー	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								兼2
		コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								兼2
		情報サービス論	2後	2						1		
		情報サービス演習	3前	1						1		
		情報検索	2前	1								兼1
		情報技術論	3前	2						1		
		情報メディアの活用	3後	2						1		
専門基礎科目	入門	地域文化入門	1前	1			7	5	6			
	文化の発見	地域文化論Ⅰ(小泉八雲)	1後	2								兼1
		地域文化論Ⅱ(出雲)	1前	2		1		2				兼2
		地域文化論Ⅲ(山陰)	1後	2				1				
		地域文化論Ⅳ(地域資源)	1後	2			1					
	文化の体験	しまね文学探訪	1前	2		1						兼1
		しまね歴史探訪	1後	2				1				
		しまね民俗探訪	2前	2				1				
		しまねのまちづくり	1-2後	2			1					
		しまね図書館学	2後	2			2			1	1	
		読み聞かせの実践	2前	2								兼2
		Kids' English入門	2前	2			1					
	Kids' English	2後	2			1					兼1	
	文化の活用	観光と文化	1前	2		1						
		観光と地域資源	1後	2		1						
		まちづくりと協働	1前	2				1				
		観光まちづくり論	1後	2				1				
		観光まちづくり演習	2前	2				1				
		人と地域の調査法	2前	2								兼1
		観光フィールドトリップ	3前	2								兼1
卒業研究	地域文化プロジェクトⅠ	3通	3			7	5	6				
	地域文化プロジェクトⅡ	4通	3			7	5	6				
専門科目	日本の文化と歴史	日本文化概論	1前	2					1			
		日本文化論Ⅰ(居住文化)	2前	2						1		
		日本文化論Ⅱ(祭礼文化)	2後	2								兼1
		日本文化論Ⅲ(妖怪文化)	3前	2								兼1
		日本文化論Ⅳ(表象文化)	3後	2								兼1
		日本の歴史Ⅰ(文化史)	2前	2					1			
		日本の歴史Ⅱ(観光史)	2後	2		1						
		日本の歴史Ⅲ(近世)	3前	2					1			
		日本の歴史Ⅳ(近現代)	3後	2								兼1
		古文書を読む	2後	2					1			
		日本文化演習Ⅰ(茶道)	2前	1								兼1
		日本文化演習Ⅱ(華道)	2後	1								兼1
		書道Ⅰ(基礎)	3前	1								兼1
		書道Ⅱ(発展)	3後	1								兼1
		日本文化特殊講義	3前	2								兼1



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	日本語	日本語学概論Ⅰ	2前	2		1						兼1	
		日本語学概論Ⅱ	2後	2								兼1	
		日本語文法論	3前	2		1							
		日本語史	3後	2								兼1	
		地域とことば	3前	2		1							
		対照文法	3後	2		1							
		日本語学演習Ⅰ	3・4前	2		1							
		日本語学演習Ⅱ	3・4前	2								兼1	
		日本語学特殊講義	3後	2								兼1	
	日本文化	日本文学史	日本文学史Ⅰ(古典)	2前	2				1				
			日本文学史Ⅱ(近代)	2後	2		1						
			古典文学Ⅰ(神話と伝説)	2後	2				1				
			古典文学Ⅱ(歌謡と和歌)	3前	2				1				
			古典文学Ⅲ(物語と説話)	3後	2								兼1
			近代文学Ⅰ(郷土文学)	2前	2		1						
		日本の文学	近代文学Ⅱ(小説)	2後	2					1			兼1
			近代文学Ⅲ(評論)	2後	2					1			
			近代文学Ⅳ(絵本と童話)	3前	2		1						
			近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)	3後	2								兼1
			古典文学演習Ⅰ	3・4前	2					1			
			古典文学演習Ⅱ	3・4前	2					1			
	国際文化	異文化の理解	文化人類学	1前	2			1					
			ジェンダーと文化	3前	2			1					
			多文化共生論	3後	2			2					
			アメリカ文化論	2後	2								兼1
			イギリス文化論	3後	2								兼1
			ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)	3前	2								兼1
ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)			3後	2								兼1	
アジア文化論Ⅰ(東南アジア)			2後	2			1						
英語とコミュニケーション		アジア文化論Ⅱ(東アジア)	3前	2								兼1	
		アジアの歴史(東南アジア)	2前	2			1						
		アジア文化研修計画	2・3後	1			1						
		アジア文化研修	2・3後	2			1						
		国際文化特殊講義	3後	2								兼1	
		英語学概論Ⅰ	2前	2		1							
		英語学概論Ⅱ	2後	2		1							
		英語学演習Ⅰ	3前	2								兼1	
英語学演習Ⅱ	3後	2		1									
英語音声学	2後	2								兼1			
英文法Ⅰ	3前	2		1									
英文法Ⅱ	3後	2		1									
英語学特殊講義	3後	2								兼1			
英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)	2前	2								兼1			
英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級)	2後	2								兼1			
パラグラフ・ライティング	2前	2		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	日本語	日本語学概論Ⅰ	2前	2		1							
		日本語学概論Ⅱ	2後	2								兼1	
		日本語文法論	3前	2		1							
		日本語史	3後	2								兼1	
		地域とことば	3前	2		1							
		対照文法	3後	2		1							
		日本語学演習Ⅰ	3・4前	2		1							
		日本語学演習Ⅱ	3・4前	2								兼1	
		日本語学特殊講義	3後	2								兼1	
	日本文化	日本文学史	日本文学史Ⅰ(古典)	2前	2				1				
			日本文学史Ⅱ(近代)	2後	2		1						
			古典文学Ⅰ(神話と伝説)	2後	2				1				
			古典文学Ⅱ(歌謡と和歌)	3前	2				1				
			古典文学Ⅲ(物語と説話)	3後	2								兼1
			近代文学Ⅰ(郷土文学)	2前	2		1						
		日本の文学	近代文学Ⅱ(小説)	2後	2					1			兼1
			近代文学Ⅲ(評論)	2後	2					1			
			近代文学Ⅳ(絵本と童話)	3前	2		1						
			近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)	3後	2								兼1
			古典文学演習Ⅰ	3・4前	2					1			
			古典文学演習Ⅱ	3・4前	2					1			
	国際文化	異文化の理解	文化人類学	1前	2			1					
			ジェンダーと文化	3前	2			1					
			多文化共生論	3後	2			2					
			アメリカ文化論	2後	2								兼1
			イギリス文化論	3後	2								兼1
			ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)	3前	2								兼1
ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)			3後	2								兼1	
アジア文化論Ⅰ(東南アジア)			2後	2			1						
英語とコミュニケーション		アジア文化論Ⅱ(東アジア)	3前	2								兼1	
		アジアの歴史(東南アジア)	2前	2			1						
		アジア文化研修計画	2・3後	1			1						
		アジア文化研修	2・3後	2			1						
		国際文化特殊講義	3後	2								兼1	
		英語学概論Ⅰ	2前	2		1							
		英語学概論Ⅱ	2後	2		1							
		英語学演習Ⅰ	3前	2								兼1	
英語学演習Ⅱ	3後	2		1									
英語音声学	2後	2								兼1			
英文法Ⅰ	3前	2		1									
英文法Ⅱ	3後	2		1									
英語学特殊講義	3後	2								兼1			
英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)	2前	2								兼1			
英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級)	2後	2								兼1			
パラグラフ・ライティング	2前	2		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	国際文化	英語とコミュニケーション	エッセイ・ライティング	2後	2			1				兼1	
			英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)	3前	2			1					
			英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)	3後	2								
			メディア英語Ⅰ(基礎)	2前	2			1					
			メディア英語Ⅱ(発展)	2後	2			1					
		メディア英語リスニング	3前	2			1						
		アメリカ語学研修計画	1・2前	1							兼1		
		アメリカ語学研修	1・2前	2							兼1		
		海外の文学	イギリス文学史	2前	2			1					兼1
			アメリカ文学史	2後	2								
	イギリスの文学と文化Ⅰ		2後	2			1						
	イギリスの文学と文化Ⅱ		3前	2			1						
	資格・免許科目	教職に関する科目	意義の基礎理論	現代教職論	2前		2	1					
				教育原理	2前		2	1					
教育心理学			2後		2						兼1		
教育経営論			2後		2						兼1		
教育課程及び指導法			教育課程論	3前		2						兼1	
			道徳の指導法	3後		2						兼1	
	国語科教育法Ⅰ		2前		2			1					
	国語科教育法Ⅱ		2後		2						兼1		
	国語科教育法Ⅲ		3前		2				1		兼1		
	国語科教育法Ⅳ		3後		2					1			
	英語科教育法Ⅰ		2前		2		1						
	英語科教育法Ⅱ		2後		2						兼1		
英語科教育法Ⅲ	3前			2						兼1			
英語科教育法Ⅳ	3後			2		1							
生徒指導	特別活動の指導法	2前		2						兼1			
	教育方法学	2後		2						兼1			
教育実習	生徒・進路指導の理論と方法	4前		2						兼1			
	教育相談	4前		2						兼1			
	教育実習事前事後指導	4前		1	1		1						
実践	教育実習Ⅰ	4前		2	1		1						
	教育実習Ⅱ	4前		2	1		1						
	教職実践演習(中・高)	4後		2	1		1						
図書館に関する科目	図書館サービス概論	2前		2						兼1			
	図書館制度・経営論	3前		2		1							
	情報サービス特論	4前		2		2							
	図書館実習	3通		2		2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	国際文化	英語とコミュニケーション	エッセイ・ライティング	2後	2			1				兼1	
			英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)	3前	2			1					
			英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)	3後	2								
			メディア英語Ⅰ(基礎)	2前	2			1					
			メディア英語Ⅱ(発展)	2後	2			1					
		メディア英語リスニング	3前	2			1						
		アメリカ語学研修計画	1・2前	1							兼1		
		アメリカ語学研修	1・2前	2							兼1		
		海外の文学	イギリス文学史	2前	2			1					兼1
			アメリカ文学史	2後	2								
	イギリスの文学と文化Ⅰ		2後	2			1						
	イギリスの文学と文化Ⅱ		3前	2			1						
	資格・免許科目	教職に関する科目	意義の基礎理論	現代教職論	2前		2	1					
				教育原理	2前		2	1					
教育心理学			2後		2						兼2		
教育経営論			2後		2						兼1		
教育課程及び指導法			教育課程論	3前		2						兼1	
			道徳の指導法	3後		2						兼1	
	国語科教育法Ⅰ		2前		2				1				
	国語科教育法Ⅱ		2後		2						兼1		
	国語科教育法Ⅲ		3前		2					1	兼1		
	国語科教育法Ⅳ		3後		2					1			
	英語科教育法Ⅰ		2前		2		1						
	英語科教育法Ⅱ		2後		2						兼1		
英語科教育法Ⅲ	3前			2						兼1			
英語科教育法Ⅳ	3後			2		1							
生徒指導	特別活動の指導法	2前		2						兼1			
	教育方法学	2後		2						兼2			
教育実習	生徒・進路指導の理論と方法	4前		2						兼2			
	教育相談	4前		2						兼1			
	教育実習事前事後指導	4前		1	1		1						
実践	教育実習Ⅰ	4前		2	1		1						
	教育実習Ⅱ	4前		2	1		1						
	教職実践演習(中・高)	4後		2	1		1						
図書館に関する科目	図書館サービス概論	2前		2						兼1			
	図書館制度・経営論	3前		2			1						
	情報サービス特論	4前		2		2		1	1				
	図書館実習	3通		2		2		1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格・免許科目	情報資源概論	2前			2		1					兼1 兼1
		2後			2		1					
		3前			1							
	情報資源組織論	3後			1							
		情報資源組織演習Ⅰ	2後			2		1				
			4前			2		1				
		情報資源組織演習Ⅱ	3後			2		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格・免許科目	情報資源概論	2前			2		1				兼1 兼1	
		2後			2		1					
		3前			1							
	情報資源組織論	3後			1							
		情報資源組織演習Ⅰ	2後			2			1			
			4前			2				1		
		情報資源組織演習Ⅱ	3後			2				1		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

<p>・ 教員資格審査において不可判定を受けた科目について以下のとおり変更        ※「准教授1」から「講師1」に変更…「情報サービス論」「情報サービス演習」「学校図書館論」「学校図書館メディアの構成」「学習指導と学校図書館」        ※「准教授2」から「准教授1」「講師1」に変更…「しまね図書館学」「情報サービス特論」「図書館実習」        ※「准教授6、講師5」から「准教授5、講師6」に変更…「スタートアップセミナーⅠ」「スタートアップセミナーⅡ」「地域文化入門」「地域文化プロジェクトⅠ」「地域文化プロジェクトⅡ」</p> <p>・ 教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり教員配置を変更        ※「兼1」から「兼2」に変更…「教育心理学」「教育方法学」「生徒・進路指導の理論と方法」</p> <p>・ 兼任教員の変更に伴う配置変更        ※「兼11」から「兼10」に変更…「しまね地域共生学入門」</p>
---

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	136 科目	33 科目	184 科目	15 科目 [ 0 ]	136 科目 [ 0 ]	33 科目 [ 0 ]	184 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{184} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	島根県立大学短期大学部（必要面積48,416㎡）と共用			
	校舎敷地	83,452 ㎡	65,819 ㎡	— ㎡	149,271 ㎡				
	運動場用地	75,726 ㎡	6,367 ㎡	— ㎡	82,093 ㎡				
	小 計	159,178 ㎡	72,186 ㎡	— ㎡	231,364 ㎡				
	そ の 他	63,715 ㎡	30,324 ㎡	— ㎡	94,039 ㎡				
	合 計	222,893 ㎡	102,510 ㎡	— ㎡	325,403 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	島根県立大学短期大学部（必要面積15,537㎡）と共用				
	35,827 ㎡ ( 30,073 ㎡ )	15,543 ㎡ ( 19,608 ㎡ )	467 ㎡ ( 467 ㎡ )	51,837 ㎡ ( 50,148 ㎡ )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	48 室	62 室	43 室	4 室 (補助職員 1 人)	2 室 (補助職員 1 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		18 室			
	人間文化学部 地域文化学科								
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	・学生の教育環境整備に伴う図書整備の前倒しによる図書・雑誌・視聴覚資料の増(30)	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種						〔うち外国書〕種
		人間文化学部 地域文化学科	78,710 [6,799] (79,565 [7,127]) <del>(78,004 [6,738])</del>	15 [2] (19 [1]) <del>(13 [1])</del>	0 [0] (0 [0])	1,674 (1,712) <del>(1,655)</del>	35 (35)		0 (0)
		計	78,710 [6,799] (79,565 [7,127]) <del>(78,004 [6,738])</del>	15 [2] (19 [1]) <del>(13 [1])</del>	0 [0] (0 [0])	1,674 (1,712) <del>(1,655)</del>	35 (35)		0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	6,047 ㎡		355 席	625,000 冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,033 ㎡		テニスコート7面、ゴルフ練習場10打席、アスレチックルーム1室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・共同研究費増に伴う教員個人研究費配分額の減(30)
		教員1人当り研究費等	763千円 <del>772千円</del>	772千円	図書購入費	10,811千円	3,681千円 <del>1,741千円</del>	7,184千円	
	共同研究費等	9,394千円 <del>8,716千円</del>	8,716千円	設備購入費	15,965千円	132,296千円 <del>25,514千円</del>	1,000千円		・学生の教育環境整備に伴う図書購入費の増(30)
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		限内者 入学料 188千円 授業料 535.8千円 合 計 723.8千円 限外者 入学料 262千円 授業料 535.8千円 合 計 817.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	島根県立大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間文化学部 保育教育学科 地域文化学科	4 4	40 70	3年次 4 3年次 3	168 286	学士 (保育教育 学) 学士 (地域文化 学)	1.07 1.05	平成 30年度 平成 30年度	島根県松江市浜乃木 7-24-2	
総合政策学部 総合政策学科	4	220	3年次 10	900	学士 (総合政策 学)		平成 12年度	島根県浜田市野原町 2433-2	
看護栄養学科 看護学科 健康栄養学科	4 4 4	80 40	3年次 6 3年次 3	332 166	学士 (看護学) 学士 (健康栄養 学)	1.04 1.04 1.05	平成 24年度 平成 30年度	島根県出雲市西林木 町151	
大学院 北東アジア開発研究科 〔博士前期課程〕 北東アジア専攻 地域開発政策専攻 〔博士後期課程〕 北東アジア超域専攻	2 2 3	5 5 2	— — —	10 10 6	修士 (社会学) 修士 (開発研究 学) 博士 (社会学)	0.5 0.8 0.66	平成 21年度 平成 21年度 平成 21年度	島根県浜田市野原町 2433-2	
看護学研究科 看護学専攻	2	5	—	10	修士 (看護学)	1.3	平成 28年度	島根県出雲市西林木 町151	
大学 の 名 称	島根県立大学短期大学部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
健康栄養学科 保育学科 総合文化学科	2 2 2	— 40 40	— — —	— 80 80	短期大学士 (健康栄養 学) 短期大学士 (保育学) 短期大学士 (総合文化 学)	— 1.04 1.11	平成 19年度 平成 19年度 平成 19年度	島根県松江市浜乃木 7-24-2	平成30年度より学 生募集停止 平成30年度より入 学定員変更(50→ 40) 平成30年度より入 学定員変更(140→ 40)

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間文化学部 保育教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	小柳 正司 (65(高)) <平成30年4月> スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 現代教職論 教育原理 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専任	教授	松浦 雄二 (58) <平成30年4月> スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅲ(リーディング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ パラグラフ・ライティング イギリス文学史 イギリスの文学と文化Ⅰ イギリスの文学と文化Ⅱ
専任	教授	マユー あき (57) <平成30年4月> スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅱ(リスニング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅰ 英文法Ⅰ メディア英語Ⅱ(発展) メディア英語リスニング
専任	教授	田中 芳文 (57) <平成30年4月> スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅱ 英語学演習Ⅱ 英文法Ⅱ メディア英語Ⅰ(基礎) 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ
専任	教授	岩田 英作 (54) <平成30年4月> しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ インターンシップ 地域文化入門 ※ しまね文学探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅱ(近代) 近代文学Ⅰ(郷土文学) 近代文学Ⅳ(絵本と童話) 近代文学演習Ⅰ【隔年】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	小柳 正司 (65(高)) <平成30年4月> スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 現代教職論 教育原理 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専任	教授	松浦 雄二 (58) <平成30年4月> スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅲ(リーディング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ パラグラフ・ライティング イギリス文学史 イギリスの文学と文化Ⅰ イギリスの文学と文化Ⅱ
専任	教授	マユー あき (57) <平成30年4月> スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅱ(リスニング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅰ 英文法Ⅰ メディア英語Ⅱ(発展) メディア英語リスニング
専任	教授	田中 芳文 (57) <平成30年4月> スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅱ 英語学演習Ⅱ 英文法Ⅱ メディア英語Ⅰ(基礎) 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ
専任	教授	岩田 英作 (54) <平成30年4月> しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ インターンシップ 地域文化入門 ※ しまね文学探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅱ(近代) 近代文学Ⅰ(郷土文学) 近代文学Ⅳ(絵本と童話) 近代文学演習Ⅰ【隔年】



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	高橋 純 (51) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本語学概論Ⅰ 日本語文法論 地域とことば 対照文法 日本語学演習Ⅰ【隔年】
専任	教授	工藤 泰子 (45) <平成30年4月>
		しまね文化論 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光と文化 観光と地域資源 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅱ(観光史)
専任	准教授	増原 善之 <平成30年4月>
		基礎タイ語 タイ語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 多文化共生論 アジアの歴史(東南アジア) アジア文化研修計画【隔年】 アジア文化研修【隔年】
専任	准教授	藤居 由香 (47) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅳ(地域資源) しまねのまちづくり 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化論Ⅰ(居住文化)
専任	准教授	塩谷 もも (44) <平成30年4月>
		基礎インドネシア語 インドネシア語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 文化人類学 ジェンダーと文化 多文化共生論 アジア文化論Ⅰ(東南アジア)
専任	准教授	Lange Kriss Alexander (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅰ(多読) 総合英語Ⅳ(英会話) 地域文化入門 ※ Kids' English入門 Kids' English 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ エッセイ・ライティング 英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	高橋 純 (51) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本語学概論Ⅰ 日本語文法論 地域とことば 対照文法 日本語学演習Ⅰ【隔年】
専任	教授	工藤 泰子 (45) <平成30年4月>
		しまね文化論 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光と文化 観光と地域資源 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅱ(観光史)
専任	准教授	増原 善之 <平成30年4月>
		基礎タイ語 タイ語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 多文化共生論 アジアの歴史(東南アジア) アジア文化研修計画【隔年】 アジア文化研修【隔年】
専任	准教授	藤居 由香 (47) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅳ(地域資源) しまねのまちづくり 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化論Ⅰ(居住文化)
専任	准教授	塩谷 もも (44) <平成30年4月>
		基礎インドネシア語 インドネシア語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 文化人類学 ジェンダーと文化 多文化共生論 アジア文化論Ⅰ(東南アジア)
専任	准教授	Lange Kriss Alexander (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅰ(多読) 総合英語Ⅳ(英会話) 地域文化入門 ※ Kids' English入門 Kids' English 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ エッセイ・ライティング 英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	准教授	石井 大輔 (37) <平成30年4月>
		市民社会と図書館 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報技術論 情報メディアの活用 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 図書館制度論・経営論 情報サービス特論 図書館実習 情報資源概論 情報資源組織論
専任	准教授	木内 公一郎 (53) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報サービス論 情報サービス演習 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 情報サービス特論 図書館実習 学校図書館論 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館
専任	講師	杉 岳志 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ しまね歴史探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅰ(文化史) 日本の歴史Ⅲ(近世) 古文書を読む
専任	講師	中野 洋平 (38) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅲ(山陰) しまね民俗探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化概論
専任	講師	山村 桃子 (36) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅰ(古典) 古典文学Ⅰ(神話と伝説) 古典文学Ⅱ(歌謡と和歌) 古典文学演習Ⅰ【隔年】 古典文学演習Ⅱ【隔年】
専任	講師	竹田 茉耶 (29) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ まちづくりと協働 観光まちづくり論 観光まちづくり演習 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	准教授	石井 大輔 (37) <平成30年4月>
		市民社会と図書館 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報技術論 情報メディアの活用 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 図書館制度論・経営論 情報サービス特論 図書館実習 情報資源概論 情報資源組織論
専任	講師	木内 公一郎 (53) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報サービス論 情報サービス演習 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 情報サービス特論 図書館実習 学校図書館論 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館
専任	講師	杉 岳志 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ しまね歴史探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅰ(文化史) 日本の歴史Ⅲ(近世) 古文書を読む
専任	講師	中野 洋平 (38) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅲ(山陰) しまね民俗探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化概論
専任	講師	山村 桃子 (36) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅰ(古典) 古典文学Ⅰ(神話と伝説) 古典文学Ⅱ(歌謡と和歌) 古典文学演習Ⅰ【隔年】 古典文学演習Ⅱ【隔年】
専任	講師	石川(竹田) 茉耶 (29) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ まちづくりと協働 観光まちづくり論 観光まちづくり演習 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	講師	古賀 洋一 (29) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 近代文学Ⅲ(評論) 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅳ 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	長島 玲子 (64) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	安藤 彰朗 (61) <平成30年10月>
		生物と栄養
兼任	教授	岸本 強 (61) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ
兼任	教授	石橋 照子 (59) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門※
兼任	教授	高橋 泰道 (58) <平成31年10月>
		環境の科学
兼任	教授	林 秀司 (54) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	若崎 淳子 (53) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	川中 淳子 (51) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※ 生徒・進路指導の理論と方法
兼任	准教授	寺田 哲志 (56) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	藤原 映久 (48) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門※
兼任	准教授	内山 仁志 (42) <平成30年10月>
		脳科学と心
兼任	准教授	橋本 由里 (42) <平成31年10月>
		教育心理学
兼任	講師	前林 英貴 (46) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門※
兼任	講師	齋藤(杉下) 暁子 (42) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門※
兼任	講師	松尾 哲也 (41) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門※
兼任	講師	山根 かねみ (74) <平成31年10月>
		日本文化演習Ⅱ(華道)
兼任	講師	内田 賢徳 (72) <平成32年10月>
		日本語学特殊講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	講師	古賀 洋一 (29) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 近代文学Ⅲ(評論) 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅳ 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
兼任	准教授	井上 千晶 (40) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	安藤 彰朗 (61) <平成30年10月>
		生物と栄養
兼任	教授	岸本 強 (61) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ
兼任	准教授	大森 真澄 (56) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	高橋 泰道 (58) <平成31年10月>
		環境の科学
兼任	教授	林 秀司 (54) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	松本 実智江 (58) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	川中 淳子 (51) <平成30年4月>
		教育相談
兼任	教授	藤原 真砂 (67) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	藤原 映久 (48) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門※
兼任	准教授	内山 仁志 (42) <平成30年10月>
		脳科学と心
兼任	准教授	橋本 由里 (42) <平成31年10月>
		教育心理学 ※
兼任	講師	前林 英貴 (46) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門※
兼任	教授	八田 典子 (59) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	久保田 典男 (45) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	廣田 佳彦 (61) <平成31年10月>
		教育方法学 ※
兼任	准教授	山田 洋平 (36) <平成31年10月>
		教育心理学 ※
兼任	講師	山根 かねみ (74) <平成31年10月>
		日本文化演習Ⅱ(華道)
兼任	講師	内田 賢徳 (72) <平成32年10月>
		日本語学特殊講義

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	山根 道雄 (67) <平成32年10月> 近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)
兼任	講師	新倉 健 (67) <平成31年4月> 音楽
兼任	講師	倉田 隆 (66) <平成30年4月> 哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (66) <平成31年4月> 読書と豊かな人間性
兼任	講師	大塚 茂 (67) <平成30年4月> 現代経済学
兼任	講師	岡部 康幸 (66) <平成30年4月> しまね文学探訪
兼任	講師	福田 景道 (66) <平成32年10月> 古典文学Ⅲ(物語と説話)
兼任	講師	仲野 寛 (65) <平成31年4月> 生涯学習概論
兼任	講師	崔 貞美 (61) <平成30年4月> 基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	鹿野 一厚 (64) <平成30年4月> 人間と自然 国際文化特殊講義
兼任	講師	渡部 知美 (64) <平成31年10月> アメリカ文学史
兼任	講師	寺本 学 (64) <平成31年10月> 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ
兼任	講師	山根 俊喜 (63) <平成32年4月> 教育課程論
兼任	講師	福田 哲之 (61) <平成32年4月> 書道Ⅰ(基礎) 書道Ⅱ(発展)
兼任	講師	吉中 孝志 (61) <平成32年10月> イギリス文化論
兼任	講師	土江 正司 (61) <平成33年4月> 教育相談
兼任	講師	中井 誠一 (60) <平成30年10月> 実践英語Ⅱ(TOEIC対策) 英米文学特殊講義
兼任	講師	田中 俊男 (60) <平成31年10月> 近代文学Ⅱ(小説)
兼任	講師	金山 富美 (60) <平成32年4月> ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)
兼任	講師	島田 博司 (60) <平成31年10月> 教育方法学
兼任	講師	武田 信明 (60) <平成31年10月> 文学
兼任	講師	飯塚 由美 (58) <平成30年10月> 心理学 人と地域の調査法
兼任	講師	和泉 澄子 (58) <平成31年4月> 日本文化演習Ⅰ(茶道)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	山根 道雄 (67) <平成32年10月> 近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)
兼任	講師	新倉 健 (67) <平成31年4月> 音楽
兼任	講師	倉田 隆 (66) <平成30年4月> 哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (66) <平成31年4月> 読書と豊かな人間性
兼任	講師	大塚 茂 (67) <平成30年4月> 現代経済学
兼任	講師	岡部 康幸 (66) <平成30年4月> しまね文学探訪
兼任	講師	福田 景道 (66) <平成32年10月> 古典文学Ⅲ(物語と説話)
兼任	講師	仲野 寛 (65) <平成31年4月> 生涯学習概論
兼任	講師	崔 貞美 (61) <平成30年4月> 基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	鹿野 一厚 (64) <平成30年4月> 人間と自然 国際文化特殊講義
兼任	講師	渡部 知美 (64) <平成31年10月> アメリカ文学史
兼任	講師	寺本 学 (64) <平成31年10月> 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ
兼任	講師	山根 俊喜 (63) <平成32年4月> 教育課程論 <b>教育方法学 ※</b>
兼任	講師	福田 哲之 (61) <平成32年4月> 書道Ⅰ(基礎) 書道Ⅱ(発展)
兼任	講師	吉中 孝志 (61) <平成32年10月> イギリス文化論
兼任	講師	中井 誠一 (60) <平成30年10月> 実践英語Ⅱ(TOEIC対策) 英米文学特殊講義
兼任	講師	田中 俊男 (60) <平成31年10月> 近代文学Ⅱ(小説)
兼任	講師	金山 富美 (60) <平成32年4月> ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)
兼任	講師	武田 信明 (60) <平成31年10月> 文学
兼任	講師	飯塚 由美 (58) <平成30年10月> 心理学 人と地域の調査法
兼任	講師	和泉 澄子 (58) <平成31年4月> 日本文化演習Ⅰ(茶道)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	竹田 健二 (58) <平成32年4月>
		中国古典Ⅰ(基礎) 中国古典Ⅱ(発展)
兼任	講師	昌子 喜信 (57) <平成31年4月>
		情報検索
兼任	講師	小泉 凡 (56) <平成30年10月>
		地域文化論Ⅰ(小泉八雲) 日本文化論Ⅲ(妖怪文化)
兼任	講師	原田 由紀子 (56) <平成32年4月>
		情報資源組織演習Ⅰ
兼任	講師	飯塚 登世一 (55) <平成30年10月>
		総合英語Ⅲ(リーディング)
兼任	講師	品川 知彦 (55) <平成31年10月>
		日本文化論Ⅱ(祭礼文化)
兼任	講師	上野 敬子 (55) <平成32年10月>
		ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)
兼任	講師	一盛 真 (55) <平成31年4月>
		特別活動の指導法【隔年】
兼任	講師	岡本 千佳子 (54) <平成31年4月>
		読み聞かせの実践
兼任	講師	山本 ユミ (54) <平成31年4月>
		健康スポーツⅢ
兼任	講師	山根 繁樹 (54) (平成32年4月)
		近代文学演習Ⅱ【隔年】
兼任	講師	藤永 康政 (52) <平成31年10月>
		アメリカ文化論
兼任	講師	Lieske Carmella Lynn (52) <平成31年10月>
		英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級) 英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)
兼任	講師	内藤 忠和 (49) <平成32年4月>
		アジア文化論Ⅱ(東アジア)
兼任	講師	小原 真子 (49) <平成32年4月>
		英語学演習Ⅰ 英語学特殊講義
兼任	講師	大野 浩 (48) <平成31年4月>
		図書館サービス概論
兼任	講師	錦田 剛志 (48) <平成30年4月>
		地域文化論Ⅱ(出雲)※
兼任	講師	鳥谷 聡子 (47) <平成30年4月>
		基礎中国語 中国語
兼任	講師	後川 知美 (47) <平成30年4月>
		実践英語Ⅰ(TOEIC対策) アメリカの文学と文化Ⅰ
兼任	講師	岩田 裕子 (46) <平成31年4月>
		読み聞かせの実践
兼任	講師	玉木 祐子 (45) <平成31年4月>
		実践英語Ⅲ(観光英検英語)
兼任	講師	渡部 周子 (45) <平成32年10月>
		日本文化論Ⅳ(表象文化)
兼任	講師	百留 康晴 (45) <平成32年10月>
		日本語史
兼任	講師	小倉 佳代子 (44) <平成30年4月>
		コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	竹田 健二 (58) <平成32年4月>
		中国古典Ⅰ(基礎) 中国古典Ⅱ(発展)
兼任	講師	昌子 喜信 (57) <平成31年4月>
		情報検索
兼任	講師	小泉 凡 (56) <平成30年10月>
		地域文化論Ⅰ(小泉八雲) 日本文化論Ⅲ(妖怪文化)
兼任	講師	原田 由紀子 (56) <平成32年4月>
		情報資源組織演習Ⅰ
兼任	講師	飯塚 登世一 (55) <平成30年10月>
		総合英語Ⅲ(リーディング)
兼任	講師	品川 知彦 (55) <平成31年10月>
		日本文化論Ⅱ(祭礼文化)
兼任	講師	上野 敬子 (55) <平成32年10月>
		ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)
兼任	講師	一盛 真 (55) <平成31年4月>
		特別活動の指導法【隔年】
兼任	講師	山本 ユミ (54) <平成31年4月>
		健康スポーツⅢ
兼任	講師	山根 繁樹 (54) (平成32年4月)
		近代文学演習Ⅱ【隔年】
兼任	講師	藤永 康政 (52) <平成31年10月>
		アメリカ文化論
兼任	講師	Lieske Carmella Lynn (52) <平成31年10月>
		英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級) 英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)
兼任	講師	内藤 忠和 (49) <平成32年4月>
		アジア文化論Ⅱ(東アジア)
兼任	講師	小原 真子 (49) <平成32年4月>
		英語学演習Ⅰ 英語学特殊講義
兼任	講師	大野 浩 (48) <平成31年4月>
		図書館サービス概論
兼任	講師	錦田 剛志 (48) <平成30年4月>
		地域文化論Ⅱ(出雲)※
兼任	講師	鳥谷 聡子 (47) <平成30年4月>
		基礎中国語 中国語
兼任	講師	藤吉(後川) 知美 (47) <平成30年4月>
		実践英語Ⅰ(TOEIC対策) アメリカの文学と文化Ⅰ
兼任	講師	岩田 裕子 (46) <平成31年4月>
		読み聞かせの実践
兼任	講師	玉木 祐子 (45) <平成31年4月>
		実践英語Ⅲ(観光英検英語)
兼任	講師	渡部 周子 (45) <平成32年10月>
		日本文化論Ⅳ(表象文化)
兼任	講師	百留 康晴 (45) <平成32年10月>
		日本語史
兼任	講師	小倉 佳代子 (44) <平成30年4月>
		コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	北井 由香 (44) <平成32年10月> 情報資源組織演習Ⅱ
兼任	講師	山村 仁朗 (43) <平成31年10月> 日本語学概論Ⅱ 日本語学演習Ⅱ【隔年】
兼任	講師	熊丸 真太郎 (43) <平成31年10月> 教育経営論
兼任	講師	板垣 貴志 (42) <平成32年10月> 日本の歴史Ⅳ(近現代)
兼任	講師	片寄 メーガン (41) <平成31年10月> Kids' English
兼任	講師	木場 貴俊 (41) <平成32年4月> 日本文化特殊講義
兼任	講師	猫田 英伸 (41) <平成31年10月> 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ
兼任	講師	Dixon Heather Marie (40) <平成30年10月> 総合英語Ⅳ(英会話) 英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)
兼任	講師	Dustin John Kidd (40) <平成30年4月> 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光フィールドトリップ アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修
兼任	講師	加藤 暢恵 (39) <平成30年4月> コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ
兼任	講師	大坪 亮介 (39) <平成32年4月> 日本文学特殊講義
兼任	講師	宮澤 文雄 (38) <平成32年10月> アメリカの文学と文化Ⅱ
兼任	講師	塩津 英樹 (38) <平成32年10月> 道徳の指導法
兼任	講師	竹中 裕貴 (36) <平成30年4月> 総合英語Ⅱ(リスニング) 英語音声学
兼任	講師	黒澤 修一郎 (35) <平成31年10月> 日本国憲法
兼任	講師	片岡 佳美 (47) <平成30年10月> 社会学
兼任	講師	加藤 泰寛 (44) <平成30年4月> しまねボランティア研修

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	北井 由香 (44) <平成32年10月> 情報資源組織演習Ⅱ
兼任	講師	山村 仁朗 (43) <平成31年10月> 日本語学概論Ⅱ 日本語学演習Ⅱ【隔年】
兼任	講師	熊丸 真太郎 (43) <平成31年10月> 教育経営論
兼任	講師	板垣 貴志 (42) <平成32年10月> 日本の歴史Ⅳ(近現代)
兼任	講師	片寄 メーガン (41) <平成31年10月> Kids' English
兼任	講師	木場 貴俊 (41) <平成32年4月> 日本文化特殊講義
兼任	講師	猫田 英伸 (41) <平成31年10月> 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ
兼任	講師	Dixon Heather Marie (40) <平成30年10月> 総合英語Ⅳ(英会話) 英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)
兼任	講師	Dustin John Kidd (40) <平成30年4月> 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光フィールドトリップ アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修
兼任	講師	加藤 暢恵 (39) <平成30年4月> コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ
兼任	講師	大坪 亮介 (39) <平成32年4月> 日本文学特殊講義
兼任	講師	宮澤 文雄 (38) <平成32年10月> アメリカの文学と文化Ⅱ
兼任	講師	塩津 英樹 (38) <平成32年10月> 道徳の指導法
兼任	講師	竹中 裕貴 (36) <平成30年4月> 総合英語Ⅱ(リスニング) 英語音声学
兼任	講師	黒澤 修一郎 (35) <平成31年10月> 日本国憲法
兼任	講師	片岡 佳美 (47) <平成30年10月> 社会学
兼任	講師	目次 和恵 (49) <平成30年4月> しまねボランティア研修
兼任	講師	竹内 和雄 (52) <平成33年4月> 生徒・進路指導の理論と方法 ※
兼任	講師	板橋 恒夫 (64) <平成33年4月> 生徒・進路指導の理論と方法 ※

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**置可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
・ 年齢は、**それぞれの年度の6月1日時点の満年齢**を記入してください。  
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・設置申請時の教員審査判定結果により木内公一 郎氏の職位変更（准教授→講師） ※平成29年12月AC教員審査済み。

- ・教員の氏名の姓の変更  
※竹田茉莉→石川茉莉  
※後川知美→藤吉知美
- ・「しまね地域共生学入門」の兼任教員の変更。  
※兼任教授・長島玲子→兼任准教授・井上千晶  
※兼任教授・石橋照子→兼任准教授・大森真澄  
※兼任教授・若崎淳子→兼任准教授・松本玄智江  
※兼任講師・齋藤(杉下)暁子→兼任教授・八田典子  
※兼任准教授・寺田哲志、兼任教授・川中淳子→兼任教授・藤原真砂  
※兼任講師・松尾哲也→兼任准教授・久保田典男
- ・非常勤講師の就任辞退に伴う変更。  
※「しまねボランティア研修」…兼任講師・加藤泰寛→兼任講師・目次和恵  
※「読み聞かせの実践」…兼任講師・岡本千佳子→講義開始までに後任(兼任講師)を補充予定
- ・教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり担当者を変更  
※「教育心理学」…兼任准教授・橋本由里→兼任准教授・橋本由里、兼任准教授・山田洋平  
※「教育相談」…兼任講師・土江正司→兼任教授・川中淳子  
※「教育方法学」…兼任講師・島田博司→兼任教授・廣田佳彦、兼任講師・山根俊喜  
※「生徒・進路指導の理論と方法」…兼任教授・川中淳子→兼任講師・竹内和雄、兼任講師・坂柳恒夫

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
7	6	5	0	18	7	5	6	0	18	7	5	6	0	18
(7)	(6)	(5)	(0)	(18)						[ ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ ]	[ ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C) =  $\frac{18}{18} = 100$  %

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 =  $\frac{1}{18} = 5.55$  %

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし	必修				
			選択				
			必修				
			自由				
			必修				
			必修				
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし	必修						
			選択						
			必修						
			自由						
			必修						
			必修						
			必修						
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0		人		必修	0	科目	必修	0	科目
				選択	0	科目	選択	0	科目
				自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年8月)	教員の補充を必要とされた13授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(地域文化学科)	留意事項 設置申請時の教員審査判定結果により職位不適格と判定された教員については、平成29年12月のAC教員審査を受審し、講師可として判定を受けた。当該教員が本件13科目を担当する予定であり、履行済みと判断した(30)。	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<人間文化学部 地域文化学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況  
前身である島根県立大学短期大学部から引き続き、FD委員会を設置している。委員会は人間文化学部と併設する短期大学部の教員及び事務室長を委員とし、全6名で構成している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
委員会は毎月1回（毎月第3水曜日）開催する。平成30年度の開催状況は次のとおり。  
第1回…平成30年4月18日（水）開催

c 委員会の審議事項等  
第1回…①平成30年度計画について ②平成30年度業務分担について  
③平成30年度学内・学外研修について ④授業評価アンケートについて

② 実施状況

a 実施内容  
平成30年度は以下の活動を実施する予定である。

①FD研修会  
②授業評価アンケート  
③教員相互の授業見学  
④FD連絡会（授業見学後に実施する教員同士のディスカッション）

b 実施方法

①FD研修会  
教育内容の向上、教員の資質向上を目的として学内講師・学外講師による研修会を実施する。テーマや実施方法（講義形式かワークショップ形式か）等は今後決定する。

②授業評価アンケート  
春学期・秋学期に開講するすべての授業科目を対象に、原則として授業最終日に授業評価アンケートを実施する。アンケート結果は全体と授業別に集計の上、各教員に配付する。教員は後日フィードバックレポートを作成し、学生に公表する。

③教員相互の授業見学  
春学期又は秋学期に一定の期間を定め、専任教員が他の専任教員の授業を見学する。見学者は見学後に所定の様式に「良かった点」「自分の授業に取り入れたい点」「工夫すればよくなる点」等を記入し、見学した授業担当の専任教員に提出する。

④FD連絡会(授業見学後に実施する教員同士のディスカッション)

③の授業見学実施後、全専任教員を対象として授業見学を通じての振り返りと、グループワークを実施し、授業見学から得たことの共有や、授業改善等に関する意見交換を行う。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

上記①～④について、専任教員は原則全員が参加する事業である(ただし、授業評価アンケートは対象の学期に授業を担当しない場合は対象から外れる)。平成30年度の各事業については、FD委員会において実施時期・内容・方法等を検討し、教員に対して周知する予定である。

なお、人間文化学部開設に先立ち平成29年10月14日に、人間文化学部及び併設する短期大学の教員を対象とした顔合わせ・学科別打ち合わせ会等を開催し、現任教員のほか、新規採用教員23名中21名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後実施する①～④の各事業を踏まえ取り組む予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

春学期・秋学期に開講するすべての授業科目を対象に、原則として授業最終日に授業評価アンケートを実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は全体と授業別に集計の上、各教員に配付する。教員は後日フィードバックレポートを作成し、学生に公表する。学生へのレポートの公表は学内LANへの掲載により行う。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

##### 1. 人間文化学部の設置の趣旨・目的

###### ■人間文化学部の教育研究上の理念

人間文化学部は、人間形成及び人間によって歴史的に創出・形成されてきた文化について探究し、地域社会と連携した実践的で学術的な教育研究を推進する。地域における文化の発見と継承、再生に取り組み、地域で活躍できる実践力を兼ね備えた人材を育成することを通して、関連する学術分野の進展と地域社会の発展に寄与することを目的とする。

###### 【地域文化学科】

地域文化学科は、島根の文化をはじめ、日本及び海外の諸文化について、歴史や語学、文学などの様々な観点から教育研究を推進し、地域の文化を基盤としてグローバルな視点で文化の諸相を捉えることのできる広い視野と寛容の精神を備え、人々と協働しながら文化の活性化に取り組む態度を身に付けた人材を育成することを通して、地域文化の継承と発展に寄与することを教育研究上の目的とする。

###### ■人間文化学部の育成する人材像

人間文化学部は、教育研究上の目的に掲げる「地域における文化の発見と継承、再生に取り組み、地域で活躍できる実践力を兼ね備えた人材」を育成する。

###### 【地域文化学科】

地域文化学科は、「地域の文化を基盤としてグローバルな視点で文化の諸相を捉えることのできる広い視野と寛容の精神を備え、人々と協働しながら文化の活性化に取り組む態度を身に付けた人材」を育成する。

##### 2. 達成状況に関する総括評価・所見

第1期生となる平成30年度入学者選抜試験において、地域文化学科では以下のアドミッションポリシーを掲げて入学者選抜を実施した。

###### 【知識・技能】

文化に関する様々な分野からの専門的な学びを深めていくために必要な基礎的な学力を有している人

###### 【思考力・判断力・表現力】

広い視野から事象を見て、自ら見出した課題を主体的に考え、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

###### 【関心・意欲・態度】

地域の文化から日本、海外諸地域の文化まで多様な視点から文化について学び、学んだことを地域において還元し、社会に貢献していこうとする強い意欲を有している人

定員70名に対して215名の出願（出願倍率3.07倍）があり、最終的に74名が入学した。志願者の出身地は22府県におよび、短期大学部総合文化学科（9県）と比較して広い範囲から志願者を獲得することができた。大学間競争が激しくなる中で、全国から多数の出願者・受験者があったことは、本学の教育研究理念や育成する人材像が社会的に高い関心をもたれている証であると考えられる。

また、上記人材を育成するため、カリキュラムポリシーに基づき編成した教育課程において、平成30年度に開講すべき科目は全て計画通り開講している。

専任教員については、平成30年度に採用予定の教員全てが着任している。

なお、設置認可申請における教員審査にて職位不適格の判定を受けた教員が担当する予定であった13科目については、当該教員の職位を変更した上で、平成29年12月AC教員審査を受審し、判定・可を得ている。

また、教職課程認定審査の結果、兼任教員又は兼任教員が担当予定の科目において担当者変更を求められたものが4科目（「教育心理学」「教育相談」「教育方法学」「生徒・進路指導の理論と方法」）ある。これらについては、当該科目を担当するに相応しい教育研究業績を有した兼任教員・兼任教員に担当者を変更した上で、教職課程の認定を受けている。

校舎については、1号館・2号館については平成29年度中にバリアフリー化、設備更新、用途変更等の工事を計画通り実施した。3号館については平成30年度中にバリアフリー化、設備更新等の工事を実施する。図書館棟についても、計画通り平成30年度中の竣工を目指し、工事を進めている。

以上のとおり本学部・学科の設置計画の達成状況は概ね計画通りであると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

毎年度、中期計画及び年度計画に対する自己点検評価を行い、業務実績報告書を作成している。

前身となる島根県立大学短期大学部は、平成23年度に自己点検・評価報告書を作成し、財団法人大学基準協会による認証評価を受審し、適合の判定を受けている。適合期間の満了を迎えるため、現在、同協会での認証評価を受審中である。

島根県立大学は、短期大学部同様に財団法人大学基準協会から認証評価の適合判定を受けている。今後、平成32年3月末をもって適合期間が満了するため、現在、同協会による認証評価を受審するための準備を進めている。

b 公表方法

自己点検・評価の内容は大学ホームページ上で公開する。

③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度に財団法人大学基準協会の評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年12月末日までの公表を予定 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。